

第1回沼津市公共施設マネジメント計画策定審議会

資 料

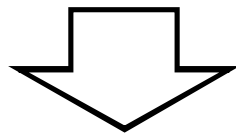
平成27年12月22日(火)

沼津市資産活用課

公共施設マネジメントの必要性

公共施設マネジメントの必要性

平成24年12月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井落下事故により公共施設の安全神話は崩壊し、高度経済成長期に一斉に整備された公共施設の老朽化・適正なメンテナンスが社会問題となっている。



国土交通省社会資本整備審議会
道路分科会(H26.4.14提言)では、

『「笹子の警鐘」を確かな教訓とし、
「荒廃するニッポン」が始まる前に、
一刻も早く本格的なメンテナンス
体制を構築しなければならない。』

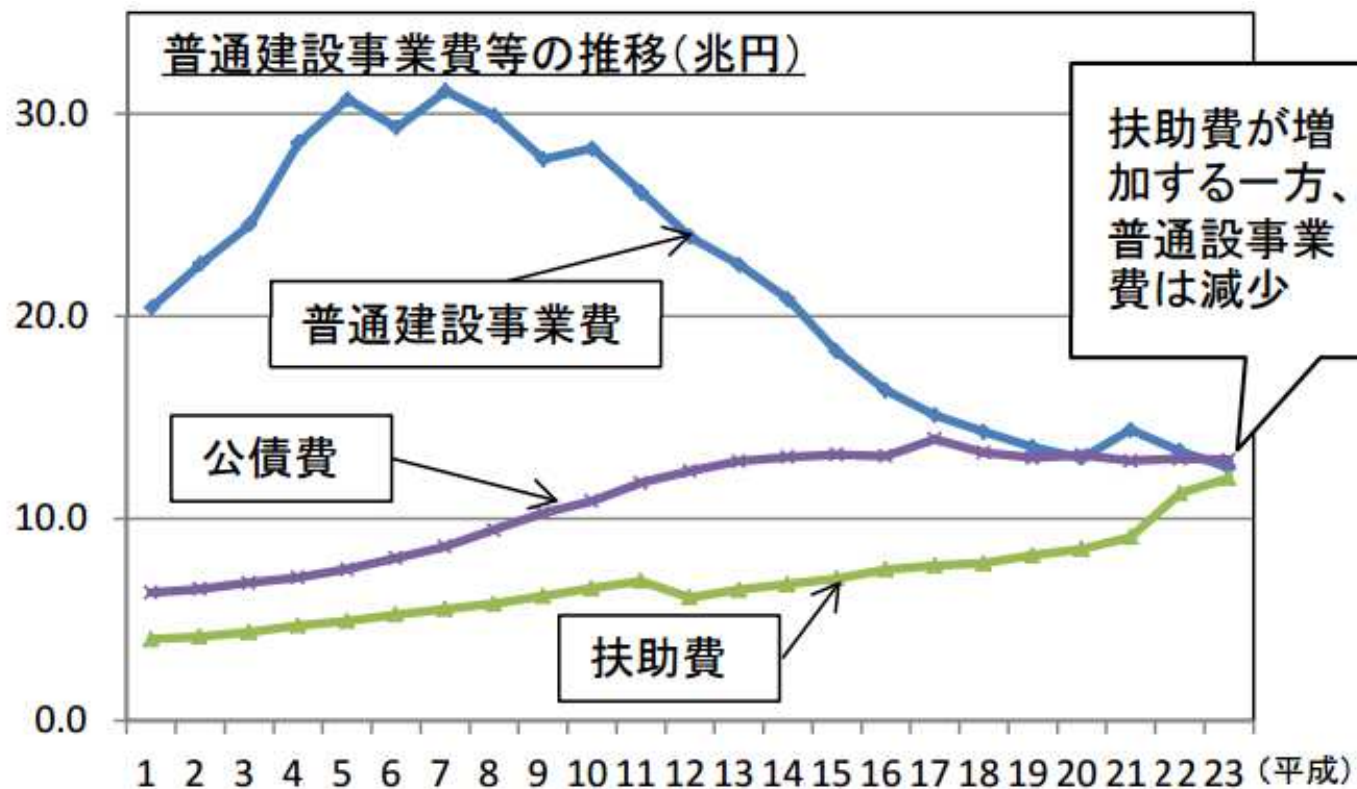
と、最後の警告を発している。



出典：山梨県警 報道提供資料

公共施設マネジメントの必要性

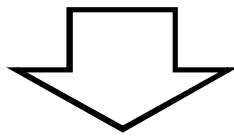
一方、少子化、高齢化などの社会構造の変化に伴い、老朽化する公共施設の更新費用を十分に確保することは全国的に困難な状況にあり、投資可能な財源確保と必要な更新費用の剥離が全国自治体の共通課題となっている。



出典:総務省自治財政局公表資料

国の動向

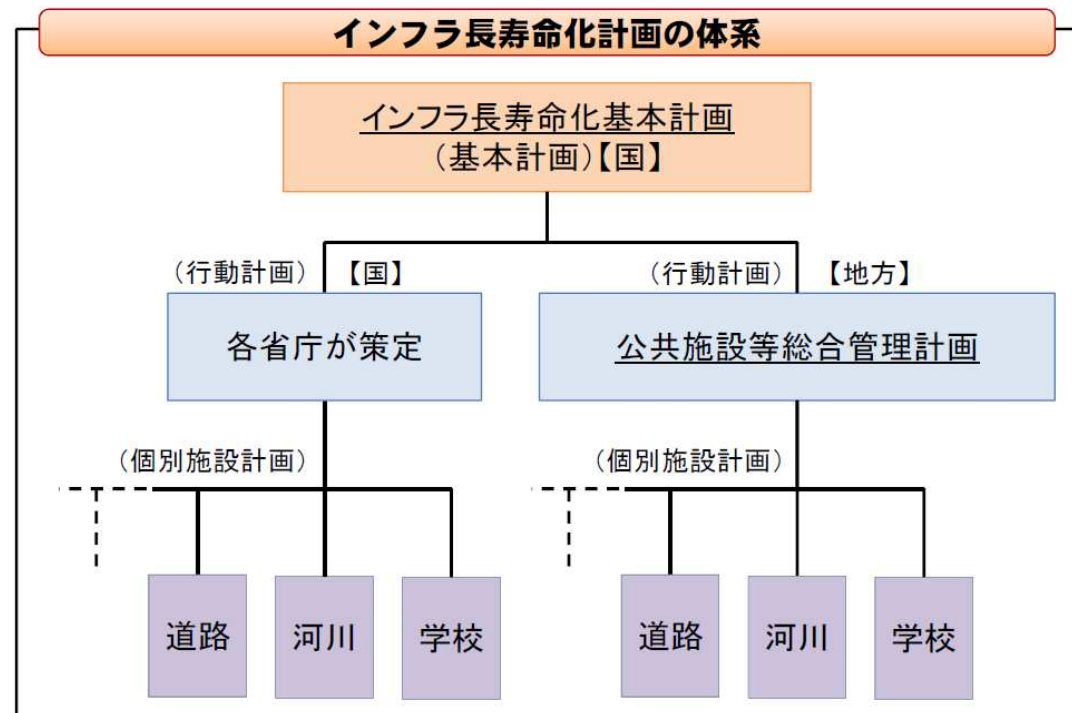
このような中、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっている。



「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」
(平成26年4月22日付総財務第74号総務大臣通知)により

「公共施設等総合管理計画」

の策定を各地方自治体へ要請した。



出典：総務省自治財政局公表資料

公共施設等総合管理計画とは

公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策の推進イメージ

公共施設等の管理

- 長期的視点に立った老朽化対策の推進
- 適切な維持管理・修繕の実施
- トータルコストの縮減・平準化
- 計画の不断の見直し・充実

まちづくり

- PPP/PFIの活用
- 将来のまちづくりを見据えた検討
- 議会・住民との情報及び現状認識の共有

国土強靱化

- 計画的な点検・診断
- 修繕・更新の履歴の集積・蓄積
- 公共施設等の安全性の確保
- 耐震化の推進

出典：総務省自治財政局公表資料

公共施設等総合管理計画とは

公共施設等総合管理計画のポイント

1. 10年以上の長期にわたる計画とする。
2. ハコモノに限らず、地方公共団体が所有するすべての公共施設等を対象とする。
3. 更新・統廃合・長寿命化など、公共施設等の管理に関する基本的な考え方を記載。

本市の概況

沼津市の概況

【位置】

- 首都東京から100km圏内に位置しており、東海道新幹線、東名高速道路、国道1号などの広域交通が市域を横断する首都圏から中京圏、関西圏をつなぐ国土軸上にある。
- 近年は、新東名高速道路や東駿河湾環状線等の広域交通の整備が進み、さらなる広域交通の利便性の向上が期待される。



【自然環境】

- 愛鷹山・達磨山山系の山々、63kmに及ぶ変化に富んだ海岸線、まちの中心には狩野川が流れるなど自然環境にも恵まれ、千本松原や香貫山といった景勝地が中心市街地周辺に点在している。



沼津市の概況

【産業】

- 豊かな自然や温暖な気候によりはぐくまれるお茶やみかん等の農業、駿河湾の豊富な水産資源を背景とした水産業やあじの干物等の水産加工業、観光業、大手の工作機器、電気メーカーをはじめ多種多様な中小企業に支えられる工業等がある。



【芸術文化】

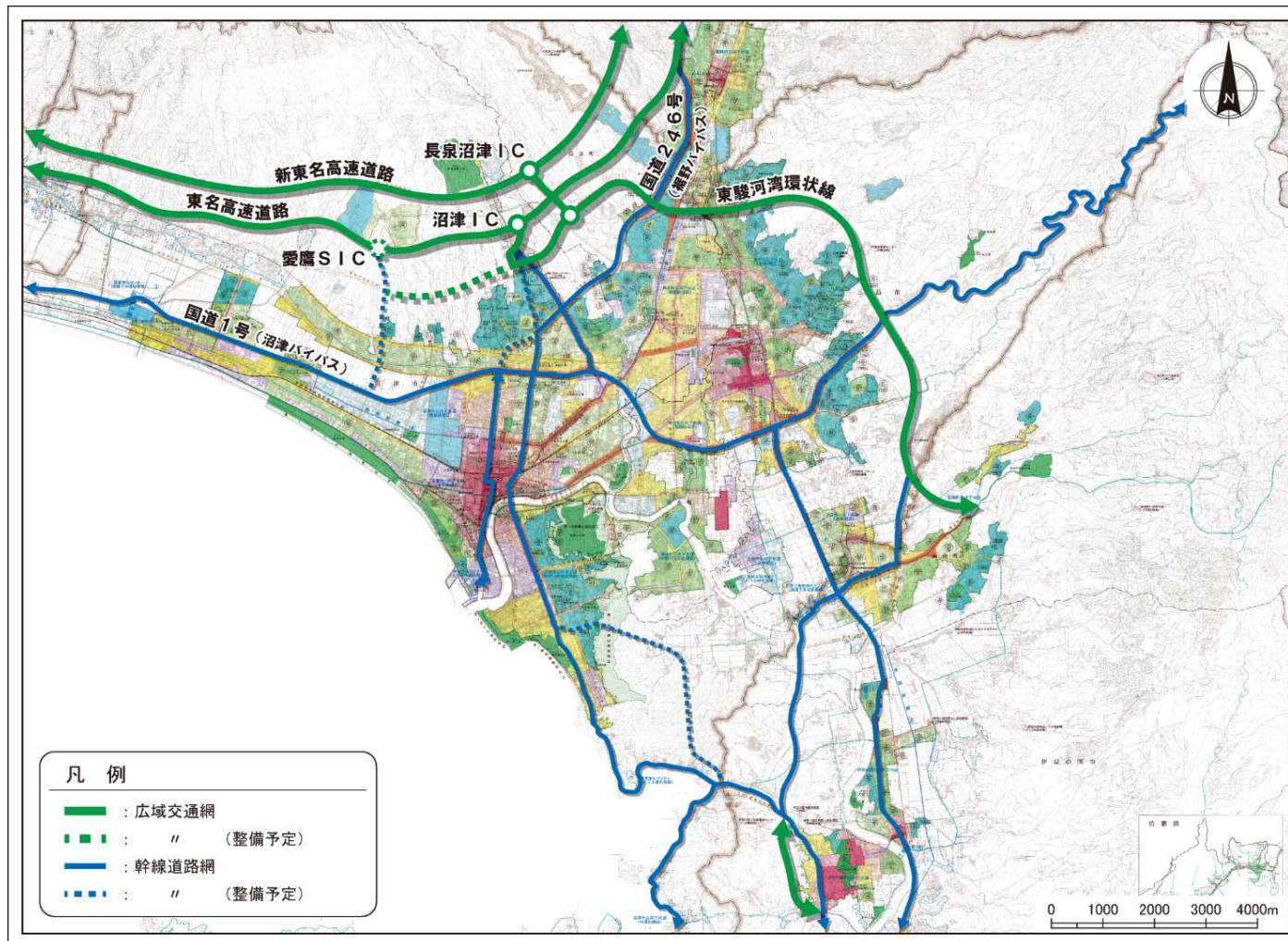
- 市内に若山牧水や芹沢光治良をはじめとする本市ゆかりの文人たちの豊富な文学資源が点在するとともに、興国寺城跡などの国指定史跡や旧御用邸、松城邸などの重要文化財が多く存在している。



静岡県東部のほぼ中心、富士・箱根・伊豆の結節点に位置し、東駿河湾地域、伊豆半島への交通拠点、あるいは広域的な商業、文化拠点として、古くから県東部地域の政治、経済、文化の中心的役割を担ってきた。

沼津市の交通

新東名高速道路や東駿河湾環状線が開通し、今後予定されている「愛鷹スマートインターチェンジ」の設置や東駿河湾環状線の西側への延伸整備など、交通利便性が大きく向上し、今後の本市の発展にむけて期待すべき要素と言える。



沼津市の成り立ち

- ・大正12年(1923年)7月1日
沼津町と楊原村の合併により「沼津市」が誕生
全国で89番目の市であり、静岡県で静岡・浜松に次ぐ3番目
人口34,482人、5,596世帯
- ・昭和19年(1944年)
片浜・金岡・大岡・静浦の4村と合併
人口96,000人程度
- ・昭和8年(1933年)
沼津港完成、翌年丹那トンネルが開通。
次々に生産部門に属する重工業生産工場が建設された。
- ・昭和20年(1945年)
戦災により市の中心部を焼失
- ・昭和30年(1955年)
愛鷹・大平・内浦・西浦の4村と合併(町村合併促進法)
人口13万人超
同年、原町は浮島村と合併。
- ・昭和43年(1968年)
原町と合併
人口18万人
- ・昭和50年(1975年)
人口20万人に到達
- ・平成17年(2005年)
戸田村と合併し、現在に至る

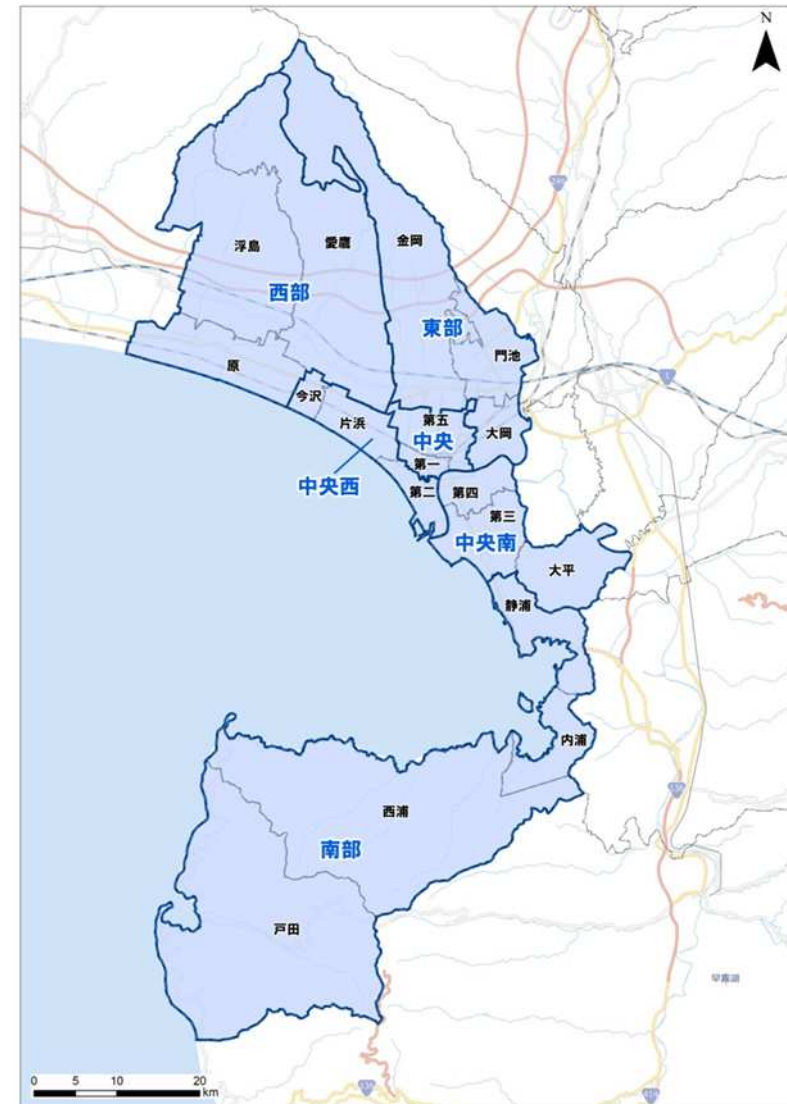


地区を基本とした施設整備

旧村の区域及び旧沼津市区域(第1～5に区分)を基本地区とし、以下の拠点施設を整備している。

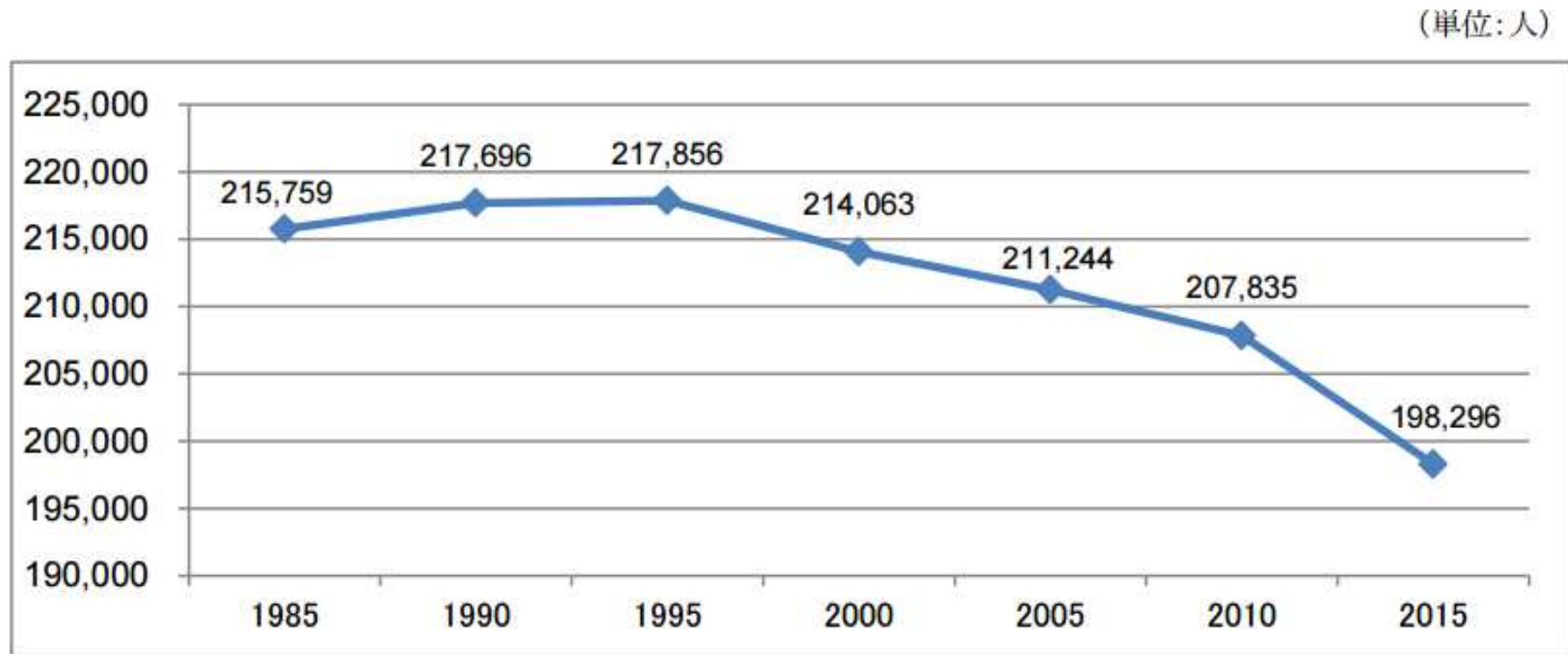
（なお、人口が増加した旧大岡村北部に門池中学校が1975年に建設され、当該校区を中心に門池地区が形成された。など一部例外あり。）

- **小中学校**(中学校16校、小学校23校、一貫校1校)
各地区に中学校1校と小学校1～2校を整備。
- **地区センター**(全17箇所)
住民活動の拠点施設として中学校区に1つ整備している。会議室や図書室、調理室等を備えており、地区コミュニティが指定管理者として運営している。
- **市民窓口事務所**(旧沼津市区域を除く11箇所)
住民票等の各種証明発行や健康保険手続き等、行政窓口機能を担っている。



沼津市の人口

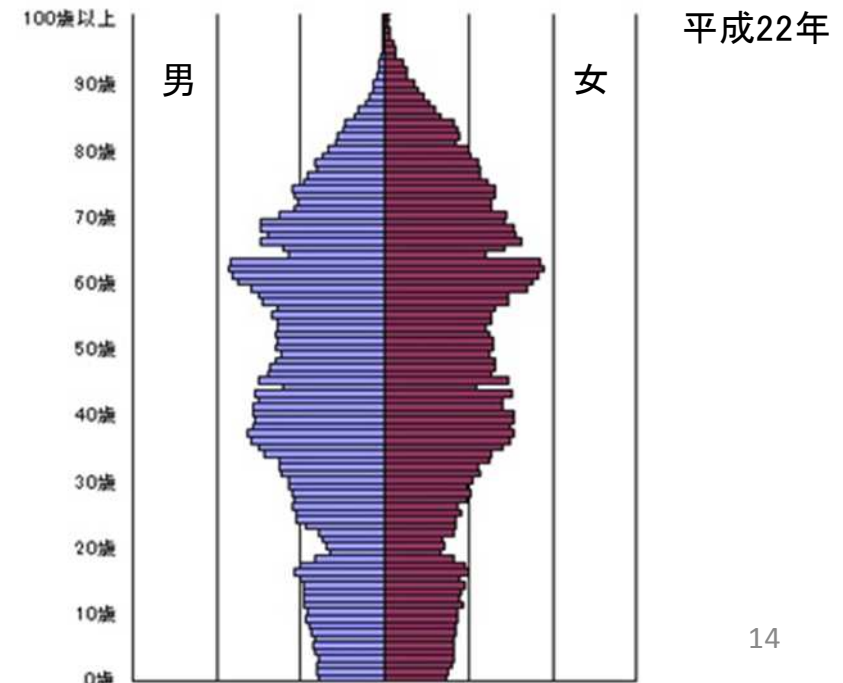
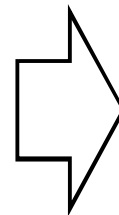
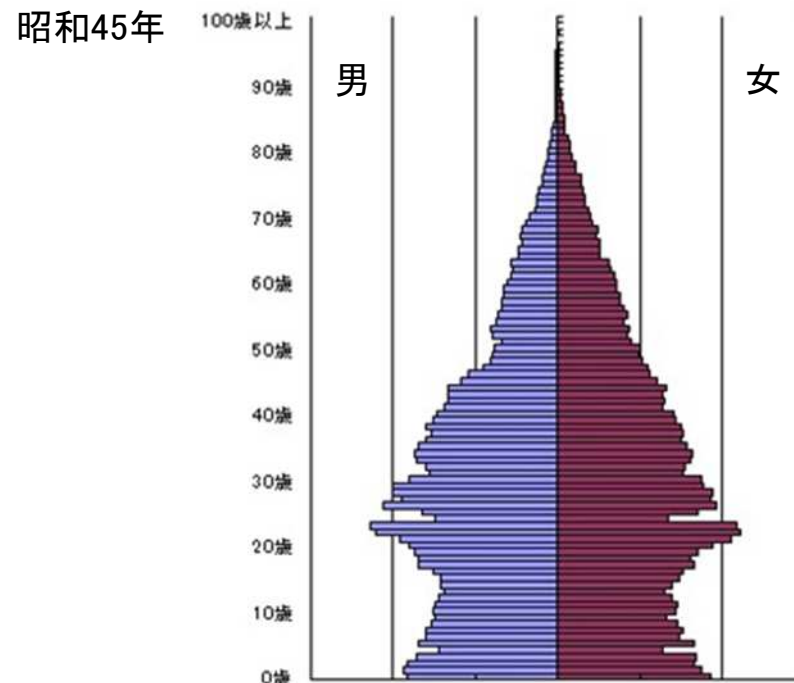
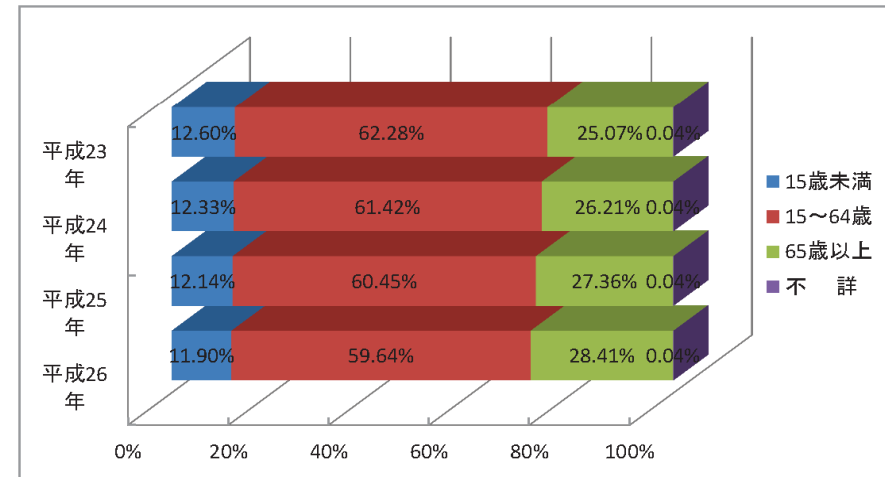
沼津市の人口（住民基本台帳による）を5年ごとの推移でみると、1995 年（平成 7 年）の約217,800 人をピークに減少に転じ、2015 年（平成 27 年）には約198,000 人と、この20 年間で 19,560 人、9.0%減少している。



(資料:「住民基本台帳」各年4月1日現在、1985年から2000年は旧戸田村の人口を含む)

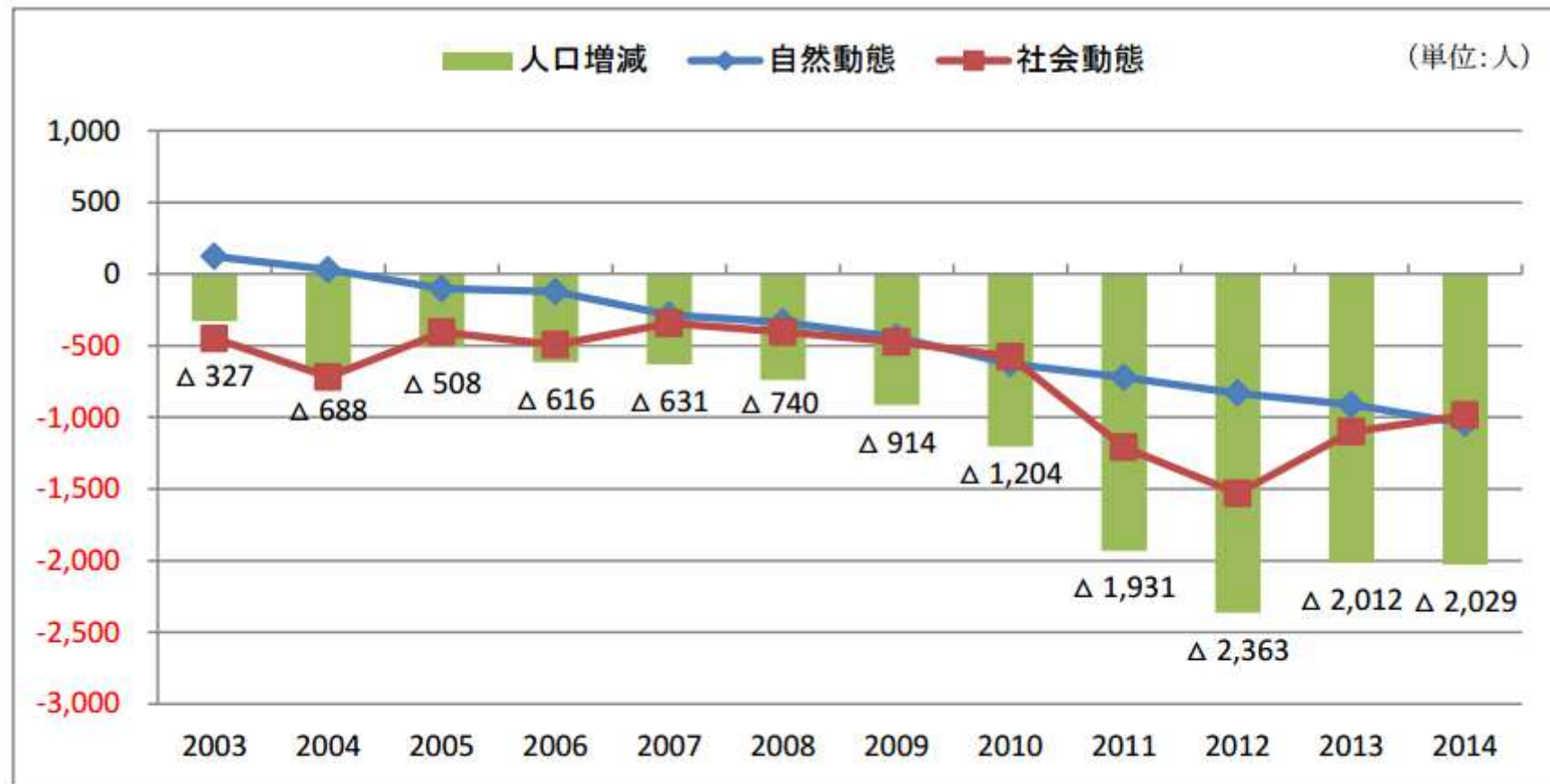
年齢構成の推移

- 65歳以上の老年人口の割合は年々増加傾向にあり、平成26年は全体の28.4%となり、少子高齢化が進行していることが伺える。
- 昭和45年と平成22年の人口ピラミッドを比較すると、年齢構成の変化が顕著に表れている。



人口動態

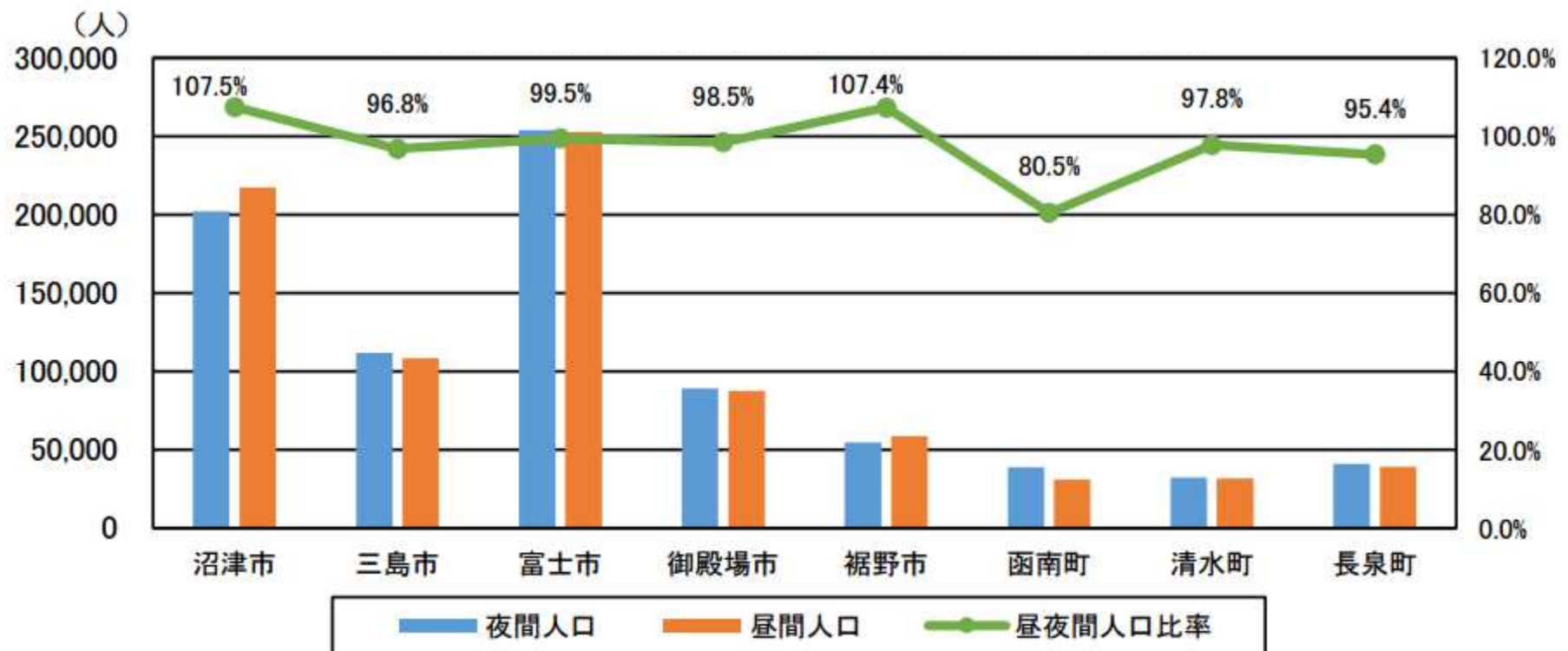
- 自然動態は 2005 年(平成 17 年)から減少傾向に転じ、減少幅は拡大している。
- 社会動態は1971 年(昭和 46 年)から減少傾向の状態が続いている。市外への転出超過は拡大傾向にあり、2014 年(平成 26 年)の転出超過数は 986 人で全国ワースト7位であった。



(資料:「住民基本台帳」 ただし 2003 年、2004 年以前の値に旧戸田村の人口を含んでいない)

昼夜間人口比率

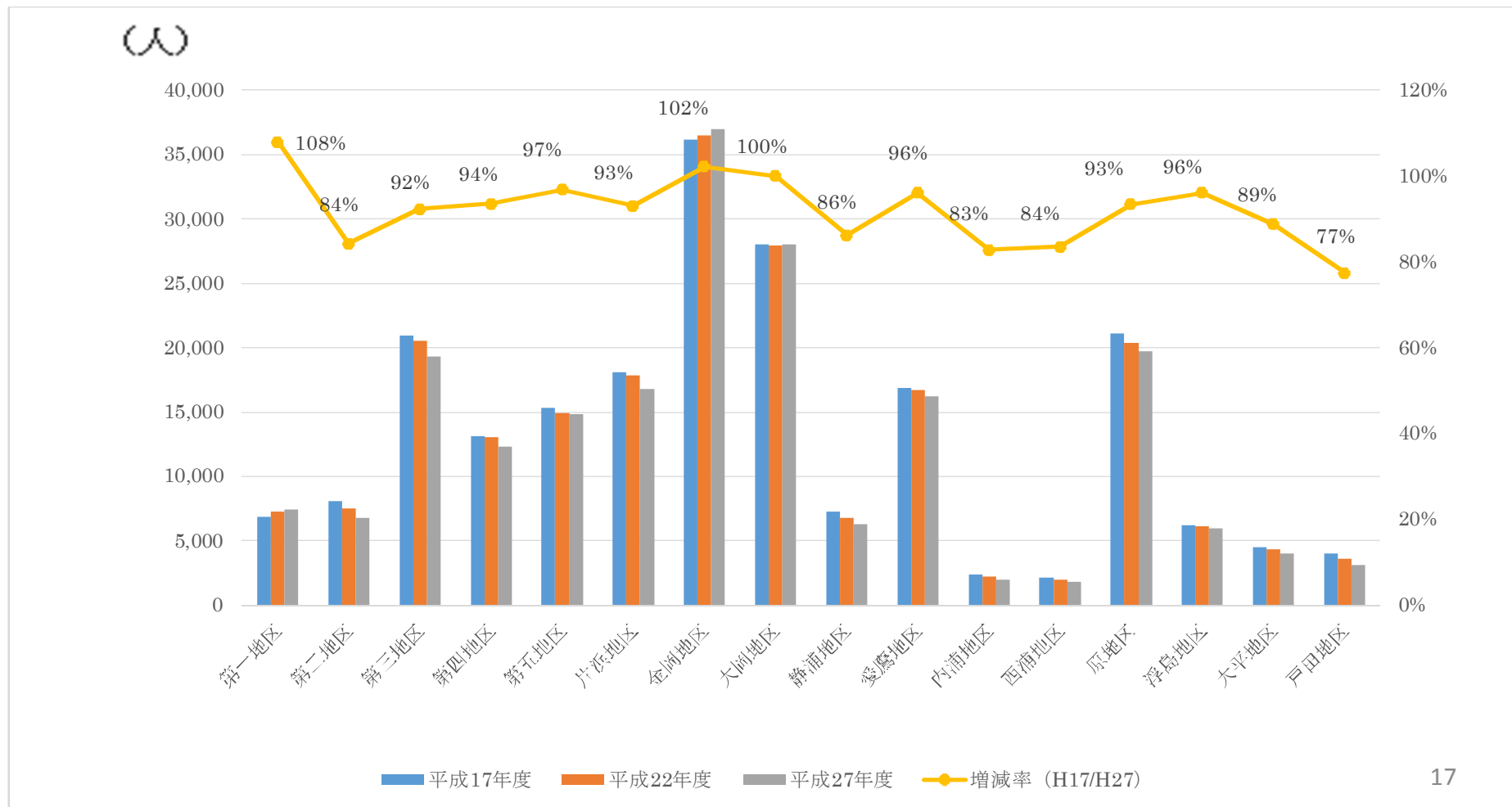
- 昼間人口が夜間人口を約8%上回っており、近隣他市町より高い水準にある。
- 本市以外の昼間人口が100%に満たないことから、本市が近隣他市町の通勤・通学需要を一定程度吸収していることがわかる。



(資料:平成22年国勢調査結果)

地区別の人口

- 第一、金岡、大岡地区は人口増加傾向にあるが、他の地区は減少傾向にある。
- 特に津波被害が想定されている南部地域（静浦、内浦、西浦、戸田地区）をはじめ、中心部（第二、第三、第四地区）においても人口減少が顕在化している。



沼津市の総合計画

未来都市像「人と環境を大切にする県東部広域拠点都市・沼津市」

- 3つの柱 (1) 環境を大切にし、地域資源を活かしたまちづくり
 (2) 静岡県東部地域全体が発展するまちづくり
 (3) 市民主体の協働のまちづくり

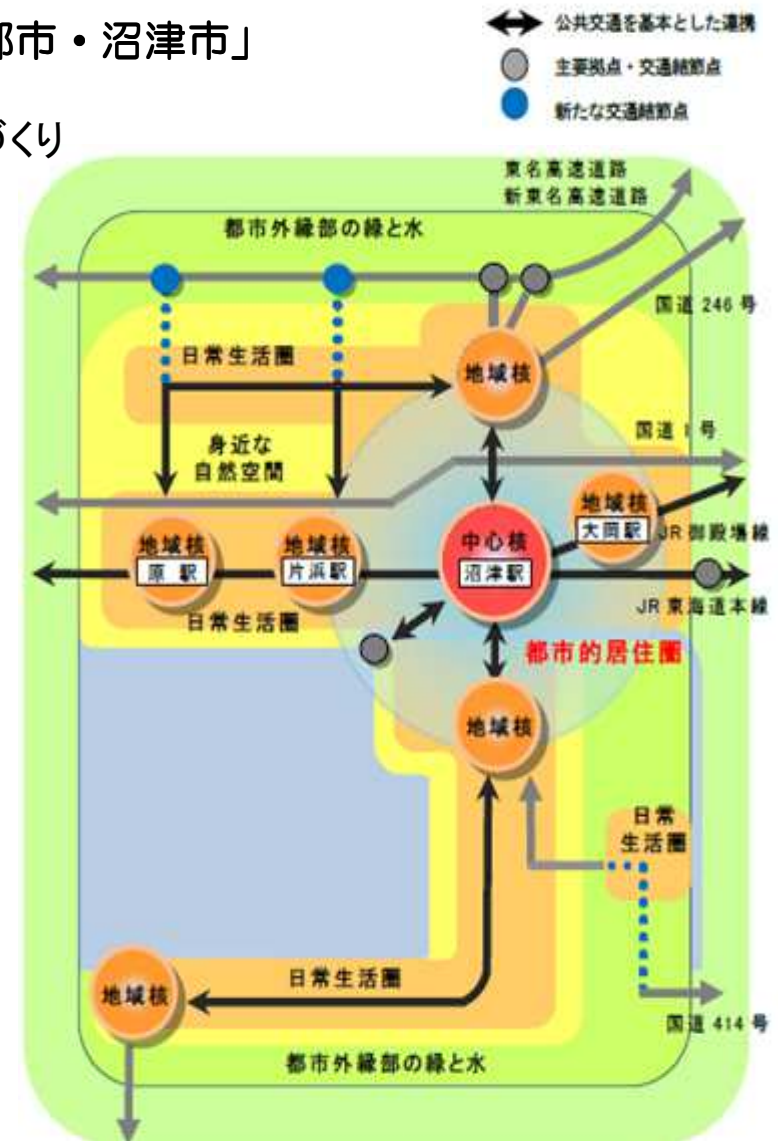
【都市構造の将来像】

・沼津駅周辺地区は、近年、駅前大型店の撤退による中心市街地の衰退や広域拠点性の相対的な低下が進んでいるが、本市の社会・経済活動の中心であり、今後も県東部地域を牽引する役割を担うべき地区でもあることから、「**中心核**」と位置づける。

・鉄道駅周辺やバス路線が充実し、人口集積が多い地域は、人々が生活するのに必要な機能が集約された拠点を形成しており、この地域を「**地域核**」として、都市機能を集約させる。

・生活基盤が整う区域を「**都市的居住圏**」と位置づける。

・沼津駅周辺の「**中心核**」を中心に、「**地域核**」同士を結びつけるため、公共交通を基本とする交通利便性を高め、一体的なまちづくりを進める。



地域別のまちづくりの方向

(1) 西部地域(原・浮島・愛鷹)「安全・安心を実感し、自然と歴史の息吹を感じる快適なまち」

<地域の特性>

- 愛鷹山麓や浮島沼、千本松原など、豊かな自然に囲まれ、茶畑や水田が広がる地域
- 興国寺城跡や白隠禅師ゆかりの松陰寺など、多くの歴史・文化資源がある
- 県東部地域の中核病院である市立病院が立地
- JR原駅は、周辺に商業機能が集積するとともに、地域の公共交通拠点としての役割を担っている

<まちづくりの方向>

- 自然と歴史を感じるまちづくり
- 治水対策等による安全・安心のまちづくり
- 茶や米をはじめとする、第一次産業の振興
- 原駅前の整備などによる地域のにぎわいづくり

田園風景(浮島)



興国寺城跡(原)



地域別のまちづくりの方向

(2) 東部地域(金岡・大岡・門池)「人・ものが行き交うにぎわいと、快適な生活環境が調和したまち」

<地域の特徴>

- 東名沼津インターチェンジが位置し、東駿河湾環状道路や国道1号、246号、414号などの主要幹線道路が結節する道路交通拠点(沼津インター周辺は、飲食店や企業が集積している)
- 身近に自然を感じる事の出来る少年自然の家や愛鷹運動公園、門池公園などが立地
- 岡宮北土地区画整理事業による居住環境の整備や、沼津と三島の間位置する交通利便性などから、近年、人口増加傾向にある

<まちづくりの方向>

- 主要幹線道路の結節点という立地を活かしたにぎわいづくり
- 住む人、訪れる人が自然とふれあえる環境整備

沼津インターに続く飲食店街(金岡、門池)



門池公園(門池)



地域別のまちづくりの方向

(3) 中央西地域(今沢・片浜・第二)「海辺でつなぐにぎわいと、活力ある産業が息づくまち」

＜地域の特徴＞

- 千本松原や狩野川、沼津港など、本市ならではの景観を有し、ジョギングやサイクリング等、市民の憩いの場となっている
- 井上靖や若山牧水など、本市ゆかりの文人たちの文学碑など、芸術・文化資源が点在する
- 沼津港は、海と新鮮な食を楽しむことができるスポットとして多くの観光客でにぎわう
- 片浜地域に広がる片浜工業地域には、ものづくりに関連する中小企業が集積

＜まちづくりの方向＞

- 景観や資源を活かした、住む人や訪れる人にとって、魅力を感じるまちづくり
- 沼津港の整備と中心市街地との交通ネットワークの強化による回遊性強化

千本松原(第二)



沼津港内湾(第二)



地域別のまちづくりの方向

(4) 中央地域(第一・第五)「人が集まり、人が育つ、県東部の「かお」となるまち」

<地域の特性>

- JR沼津駅を中心に駅南北に12の商店街が立地するとともに、多くの企業の事務所や国・県等の公共機関があり、県東部地域を代表する商業や業務機能などの集積地となっている
- 駅北側には、小中学校や高等学校が集積しており、近隣市町からの通学も多い
- 沼津駅西側には工場等が集積する工業地域、南側には狩野川を活かした潤いのある水辺空間が広がる
- 鉄道高架事業等による駅周辺の総合整備事業が進行中であり、先行して多目的イベント施設「キラメッセぬまづ」が整備された

<まちづくりの方向>

- 都市機能の集積や土地利用の高度化、商店街の活性化等により、県東部の「かお」にふさわしいまちづくり
- 沼津駅と沼津港の連携強化
- 狩野川を中心としたにぎわいづくり
- 将来的には鉄道高架事業や土地区画整理事業により生まれる、大規模な空地の活用

沼津駅北口周辺(第五)



キラメッセぬまづ(第五)



地域別のまちづくりの方向

(5) 中央南地域(第三・第四・大平)「良質な居住環境と、海・山・川の豊かな自然が共存する、 快適で人が集まるまち」

<地域の特性>

- 雄大な駿河湾を望む美しい牛臥・島郷海岸、香貫山、狩野川など、海・山・川の豊かな自然に囲まれた地域
- 御用邸記念公園などの歴史・文化資源が点在する
- 水田が広がる大平地区には、国道414号静浦バイパス整備が進んでおり、地域の活性化が期待される

<まちづくりの方向>

- 豊かな自然と歴史・文化資源とのネットワークの強化
- 国道414号静浦バイパスの整備と計画的で秩序のある土地利用

香貫山(第三、第四)



狩野川(第三、第四)



地域別のまちづくりの方向

(6) 南部地域(静浦・内浦・西浦・戸田)「自然と共生した、住んでよく訪れて楽しいまち」

<地域の特性>

- 変化に富んだ奥駿河湾の海岸線や、達磨山山系に囲まれた風光明媚な地域
- 近海漁業や養殖などの水産業や、あじのひものや温州みかん、たちばなや戸田塩など、本市の特産物を支える地域
- 日本有数のダイビングスポットである大瀬崎をはじめ、らららサンビーチ、御浜岬、マリーナなど、海に関する賑わいスポットを有する
- 東日本大震災以降、津波への警戒感が強まり、人口減少の傾向が著しい

<まちづくりの方向>

- 自然の恵みを活かした観光業等の基盤整備や担い手育成などによる地域産業の振興
- 日常生活を支える交通ネットワークの強化

らららサンビーチ(西浦)



御浜岬(戸田)

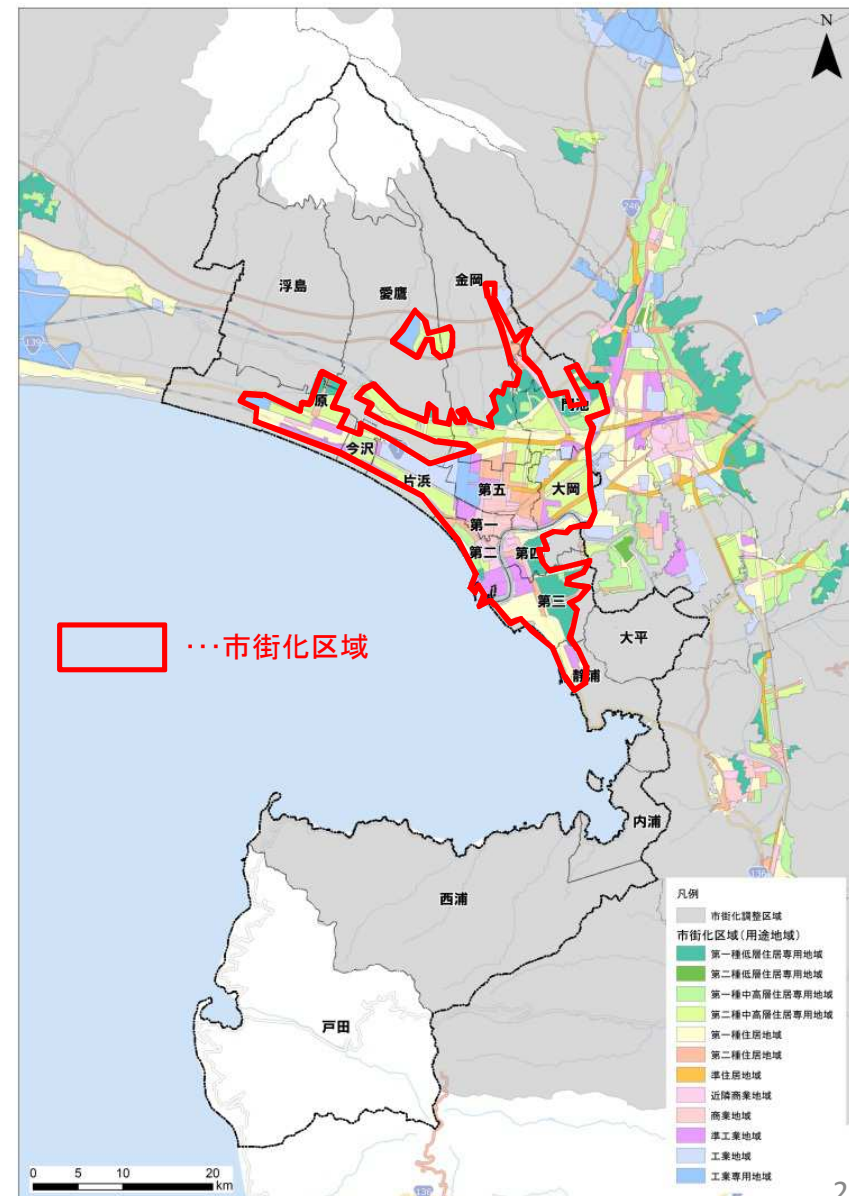


沼津市の都市構造

- 市域の約187km²のうち、戸田地区及び愛鷹山(浮島、愛鷹、金岡のそれぞれの地区の一部)の48km²が都市計画区域外となっている。
- 都市計画区域約139km²のうち、市街化区域が約31.6km²、市街化調整区域が約107.4km²となっている。

用途地域	面積(km ²)
第一種低層住居専用地域	4.5
第一種中高層住居専用地域	1.5
第二種中高層住居専用地域	7.0
第一種住居地域	5.8
第二種住居地域	2.7
準住居地域	1.0
近隣商業地域	1.8
商業地域	1.3
準工業地域	3.3
工業地域	2.7

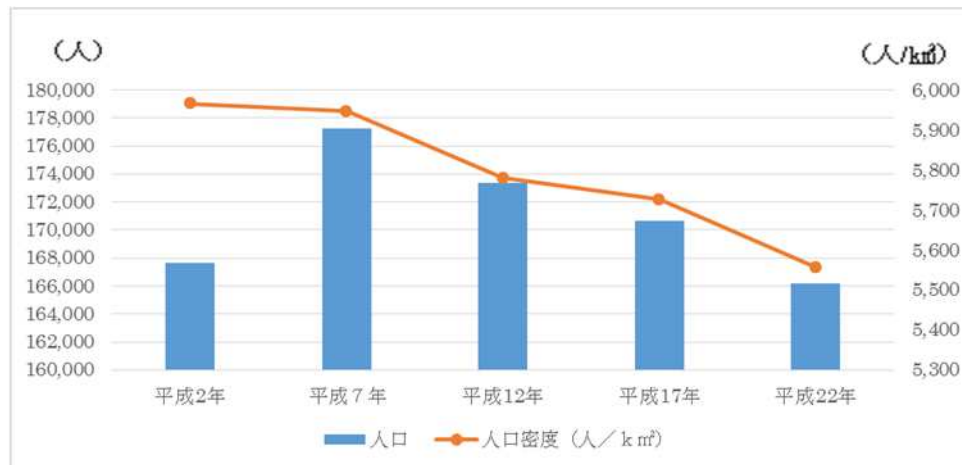
上記の数字は、平成26年度の基礎データ作成業務委託内で独自集計した結果



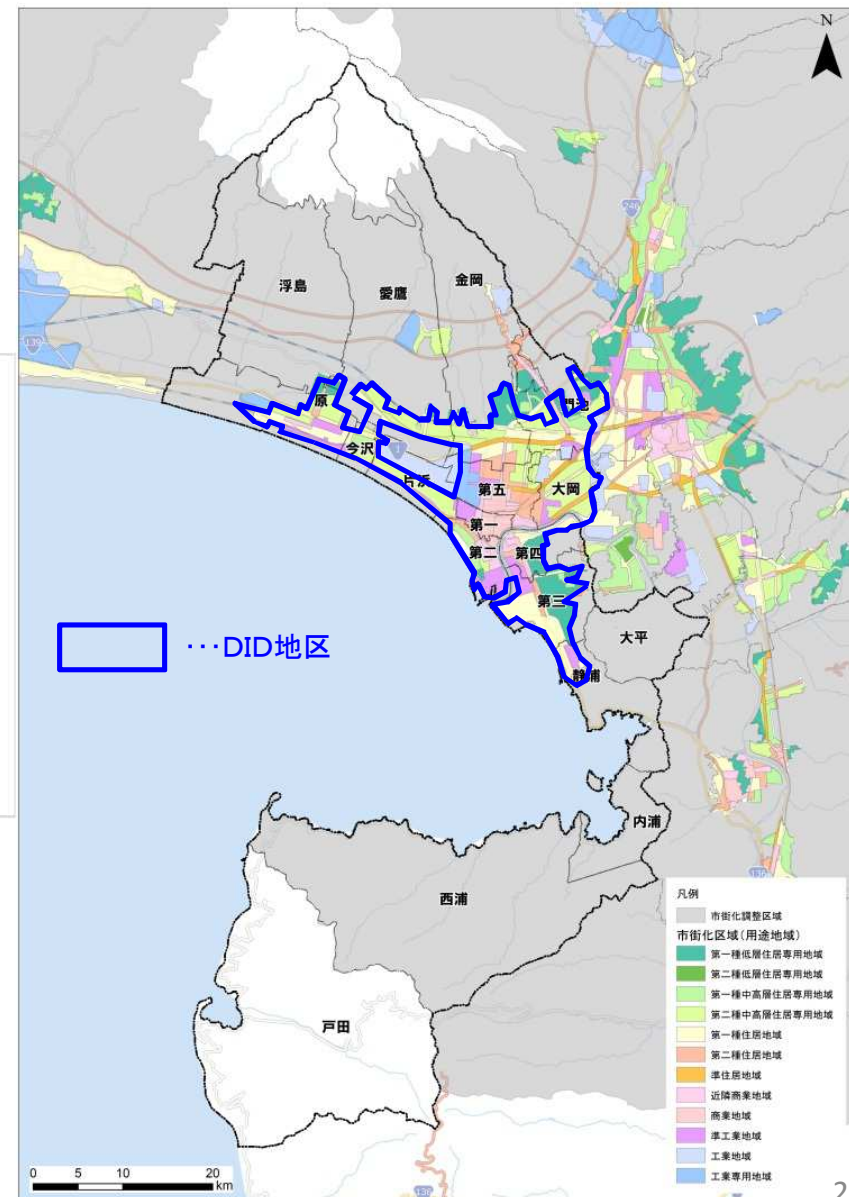
沼津市の都市構造

- DID地区は、平成2年から平成22年までの20年間に1.8km²拡大しているが、地区内の人口密度は減少傾向にある。

DID地区内の人口密度の推移

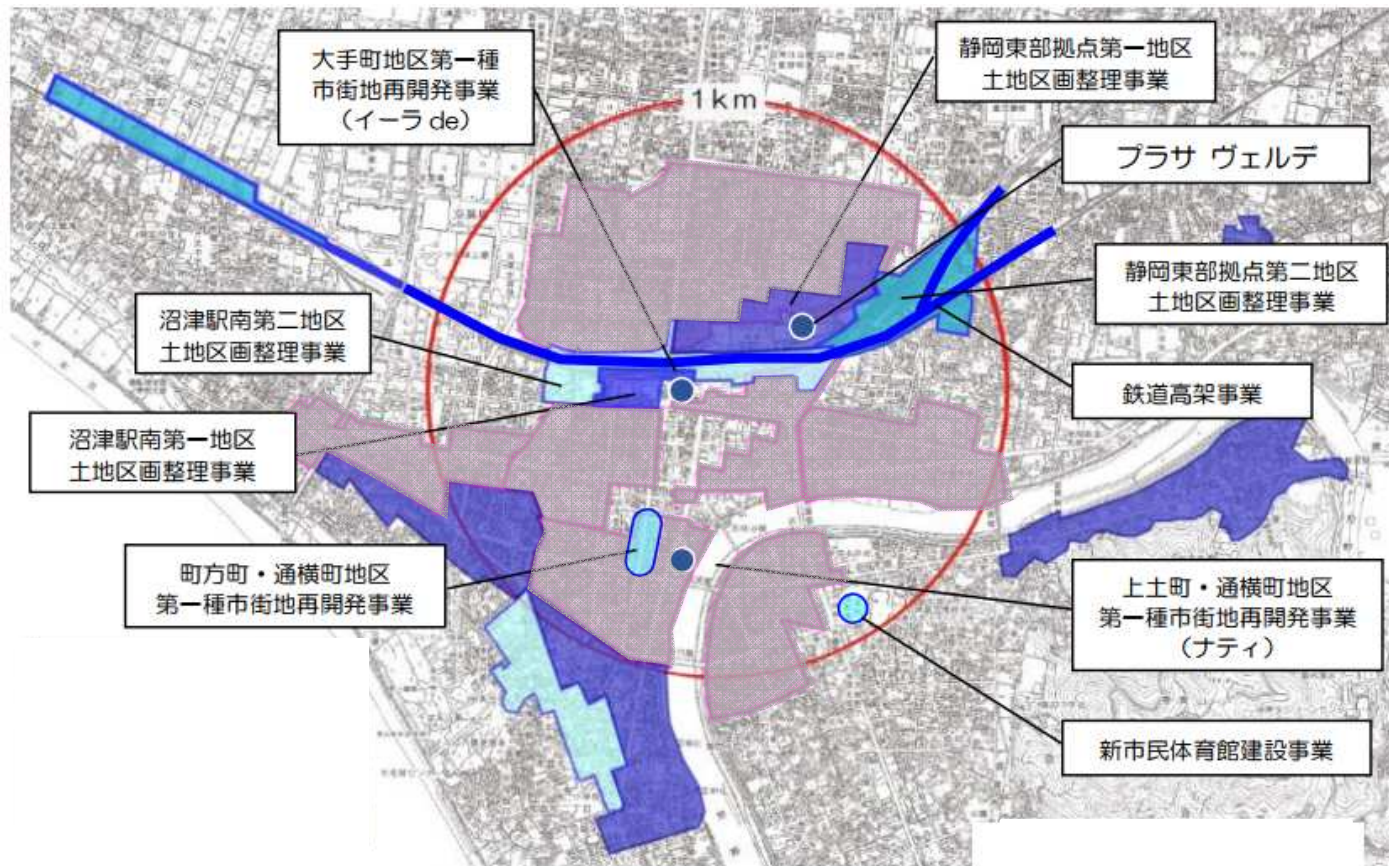


※DID地区…国勢調査において設定される統計上の地区。基本単位区の人口密度が4000人/km²以上の区が連続していること、隣接する基本単位区との合計人口が5000人以上で設定される。



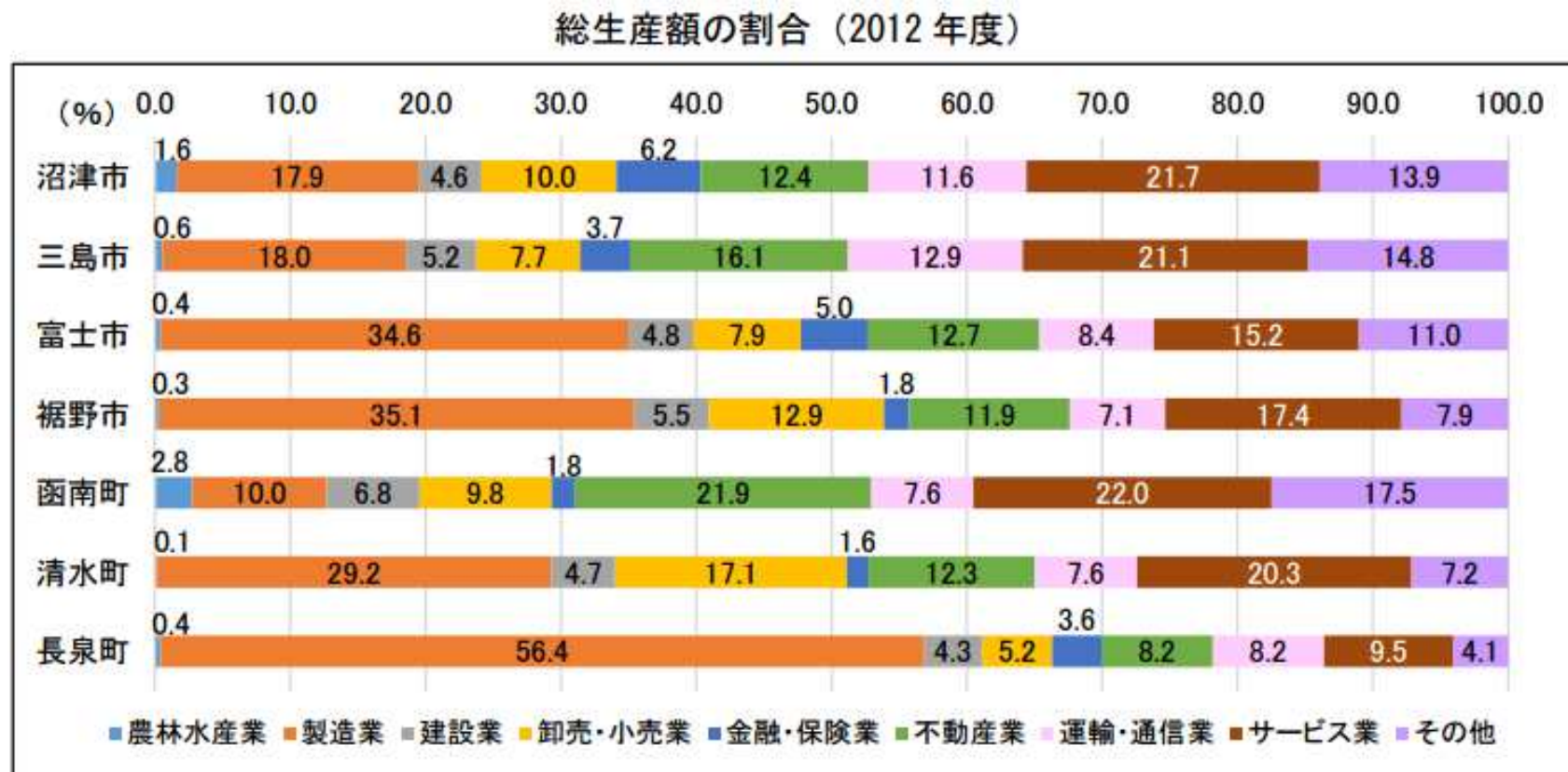
中心市街地のまちづくり

- 現在、中心市街地において鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業を実施しており、環境や景観に配慮した、道路・公園・広場などの公共空間や拠点施設を整備すると共に、交通渋滞の解消や南北の一体化が図られる。
- 事業の完成までには長期間を要することになるが、段階的に事業を進めており、将来的には、中心市街地において約12haもの新たな土地利用が可能となるため、その活用策が重要となる。



沼津市の産業構造

- 2012 年度(平成 24 年度)の沼津市内の総生産額は 7,957 億円となっている。このうち、サービス業(第3次産業)が21.8%、次いで製造業(第2次産業)が17.9%、その他(公的サービスなど)(13.9%)の順となっている。
- 近隣他市町と比較すると、多くの業種がバランスよく存在していることがわかる。

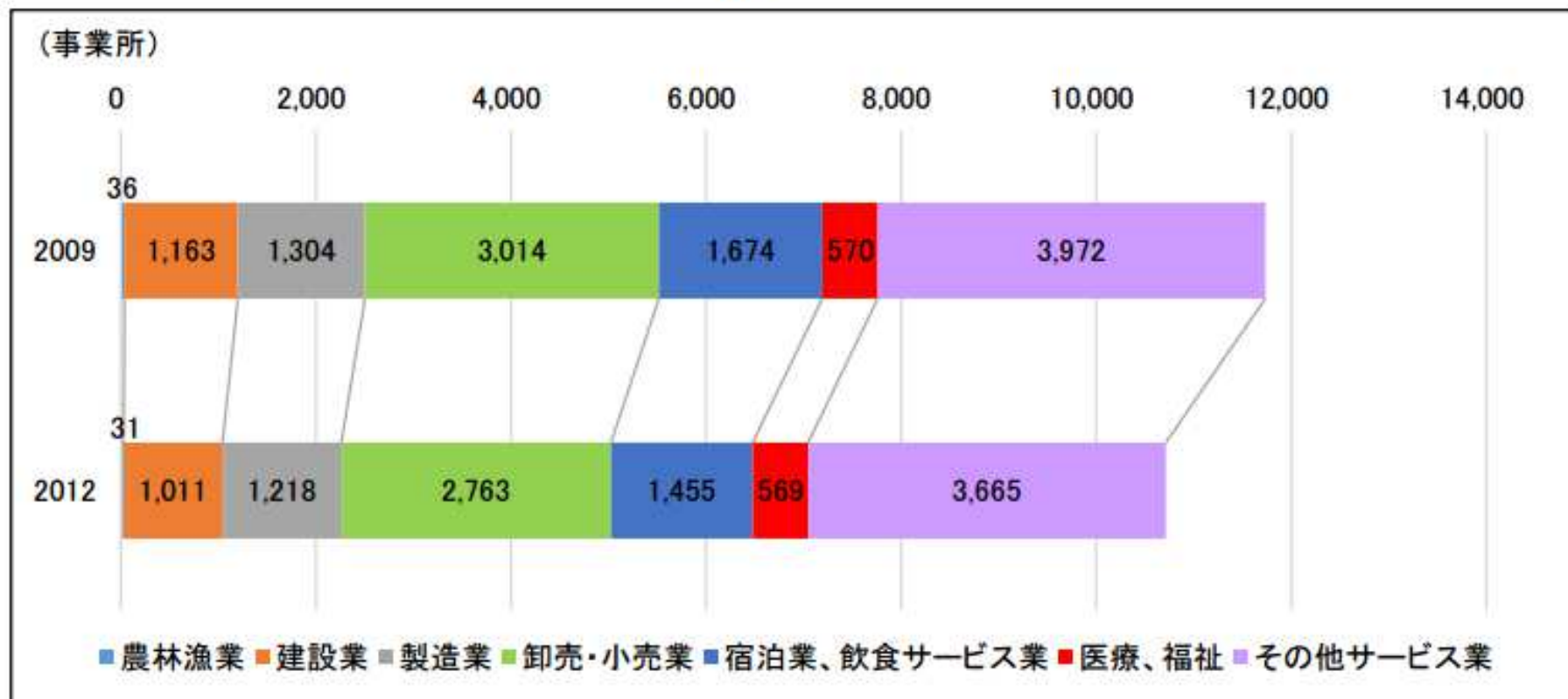


(資料:「しずおかけんの地域経済計算」)

沼津市の産業構造

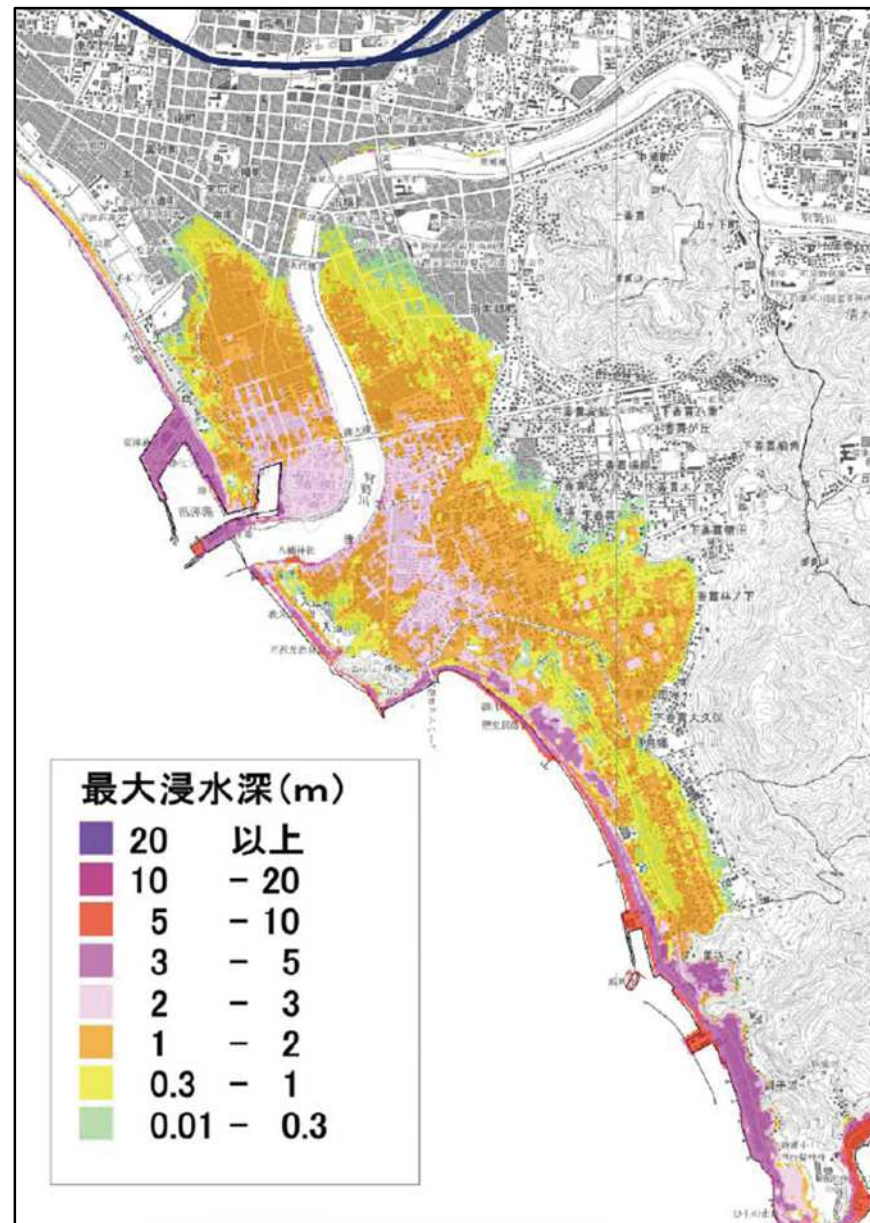
- 2012年(平成24年)の事業所数は10,712箇所、2009年(平成21年)と比較して、全ての業種で減少傾向にある。

事業所数(民営)



ハザードマップ

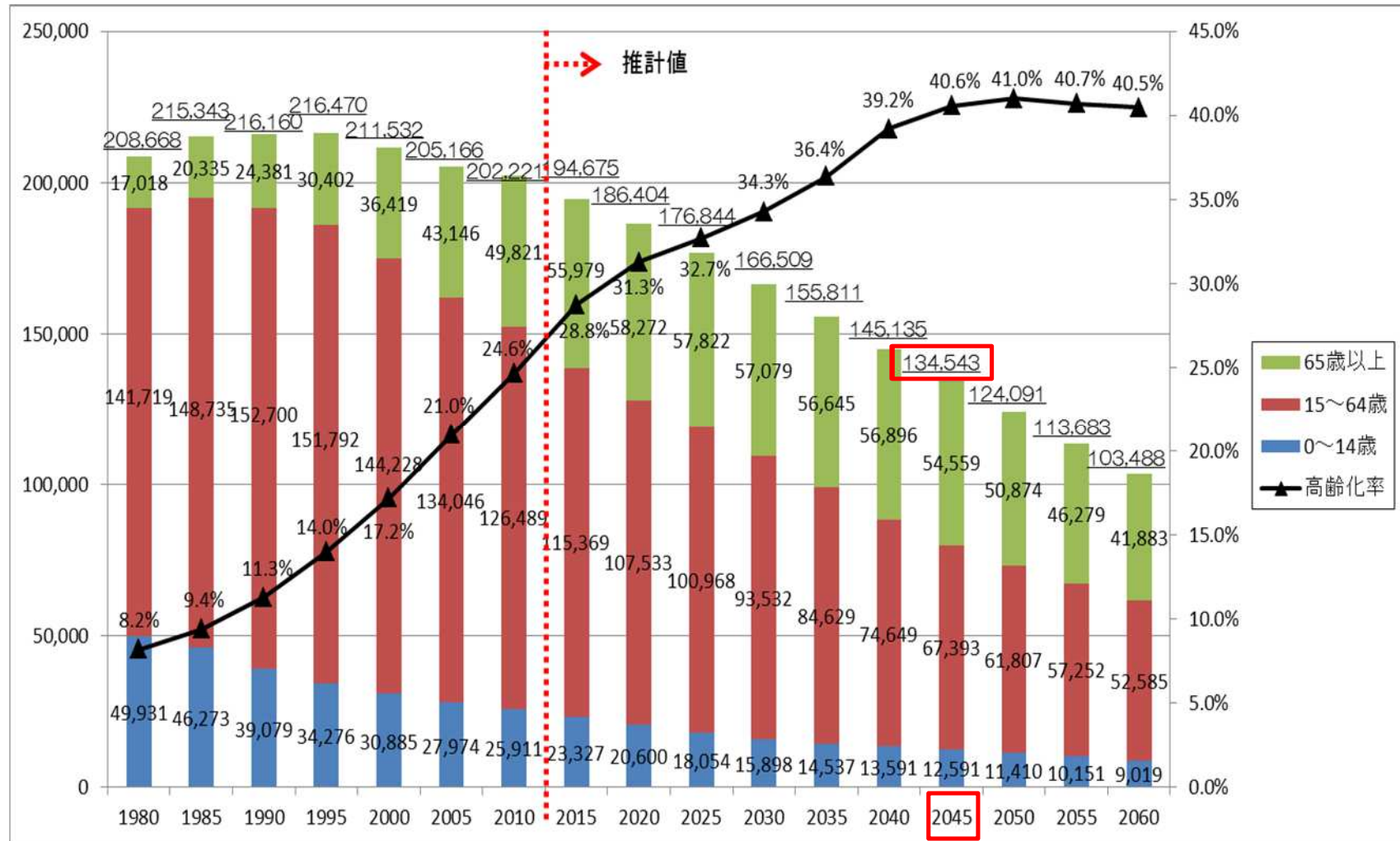
津波浸水想定図



静岡県第4次地震被害想定による

人口推計(社会保障・人口問題研究所)

(単位:人)



出所: 1980年~2010年は総務省「国勢調査」

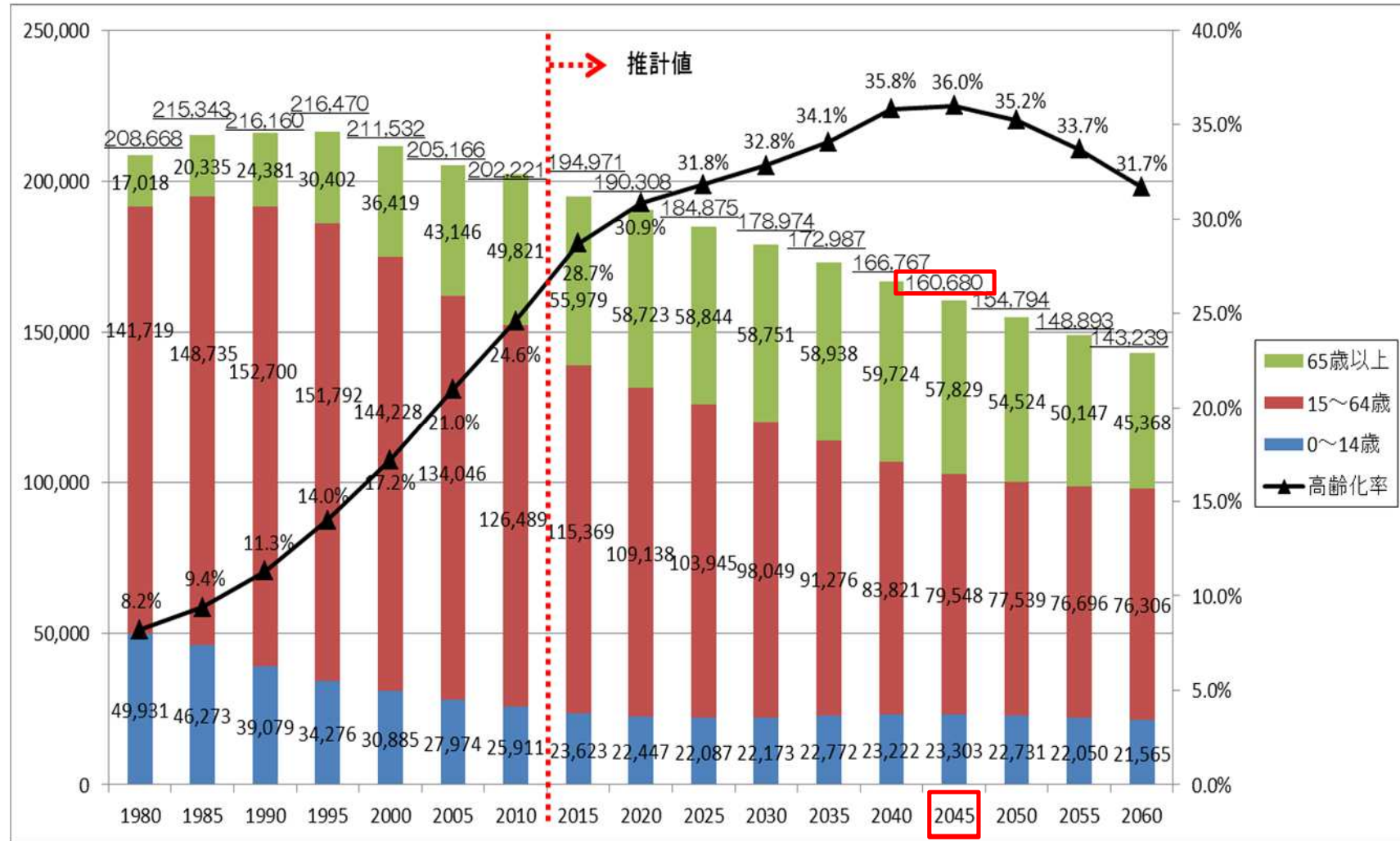
2015~2040年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(年齢不詳除く)

(出生率(1.35)、死亡率(男:84.19年、女90.93年)とも中位仮定によるもの 平成25年3月推計)

2045年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠して市が独自推計した推計

人口推計(人口ビジョン)(全体)

(単位:人)

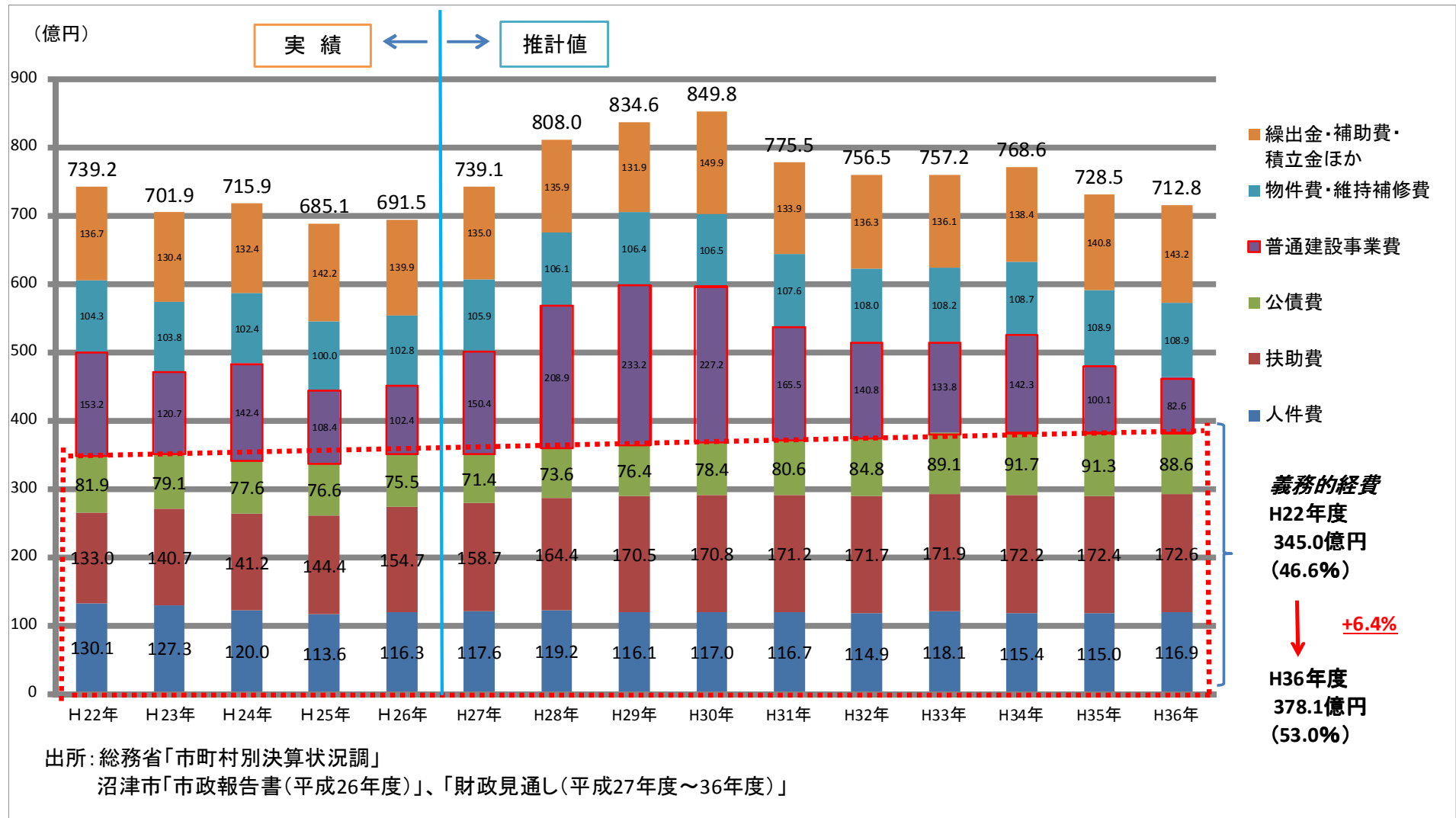


出所: 1980年~2010年は総務省「国勢調査」

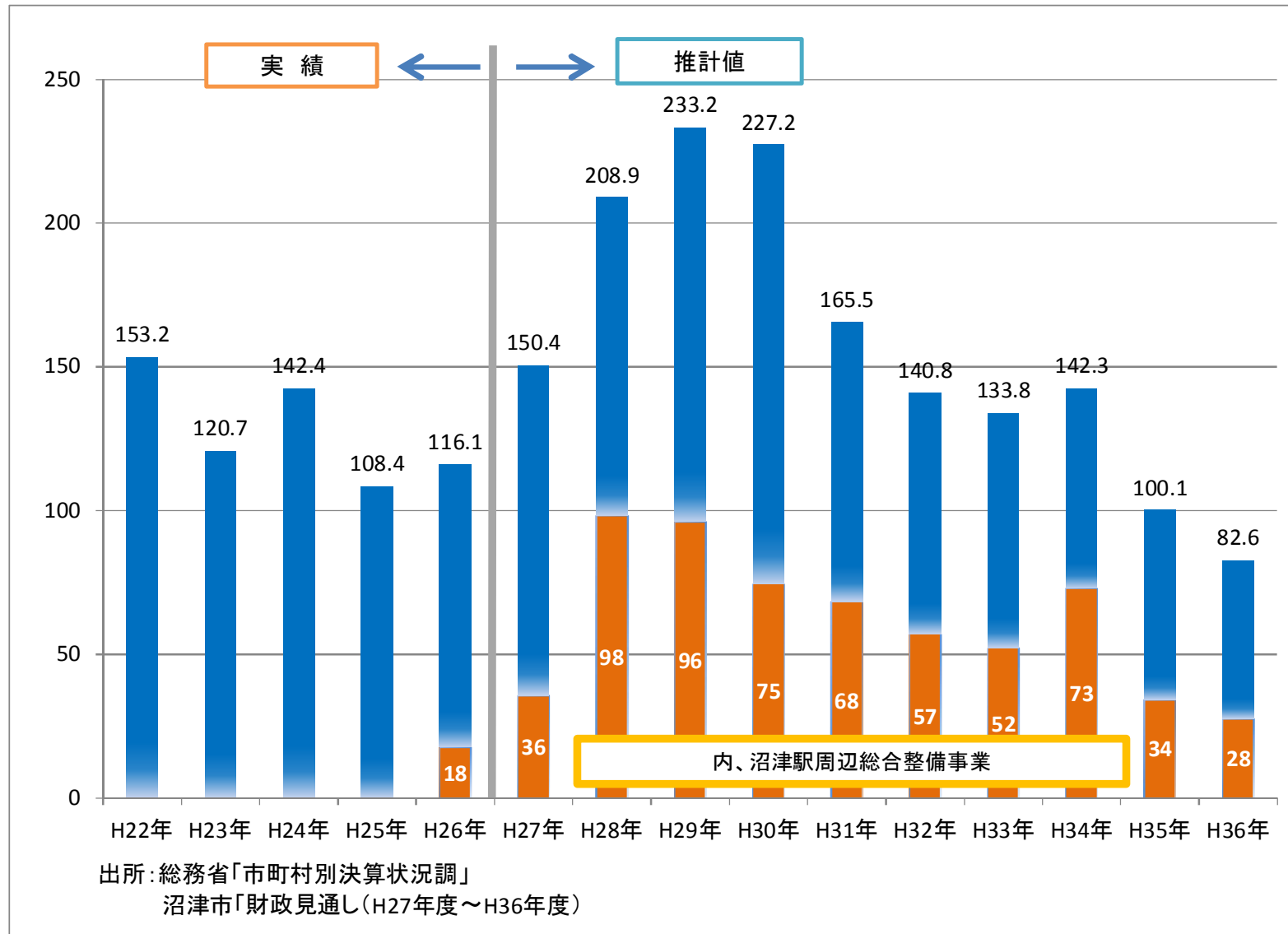
2015年以降は「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」による推計(平成27年10月推計)

(出生率が現在の1.46から2025年に1.8、2035年までに2.07へ徐々に上昇し、社会動態が2020年に±0と仮定)

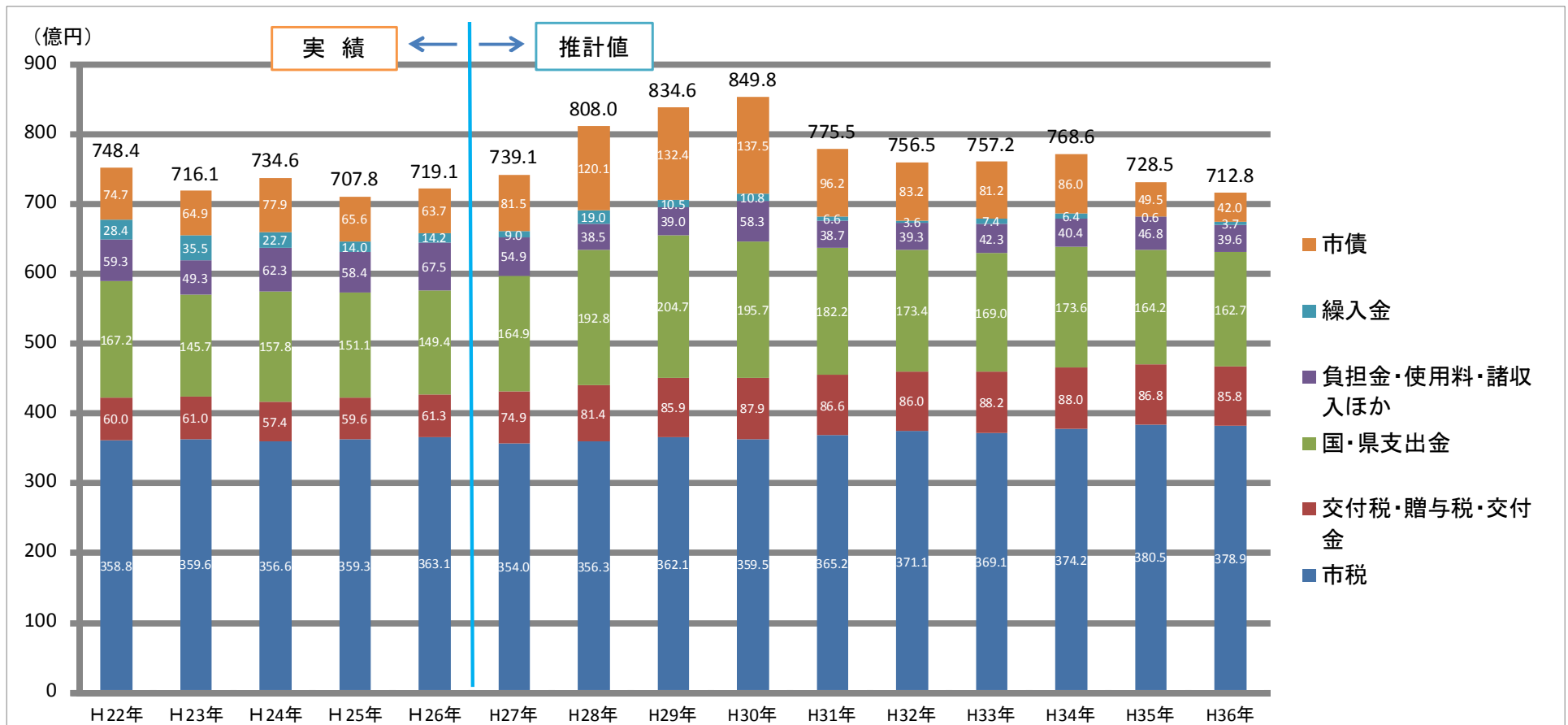
財政予測(歳出)



財政予測(普通建設事業費のみ)



財政予測(歳入)



出所:総務省「市町村別決算状況調」
沼津市「市政報告書(平成26年度)」、「財政見通し(平成27年度～36年度)」

本市の公共施設の現状

平成27年3月現在

施設数と施設分類

- 建築物からなる施設（ハコモノ施設）は350施設833棟を、設置目的や機能ごとに16分類した。

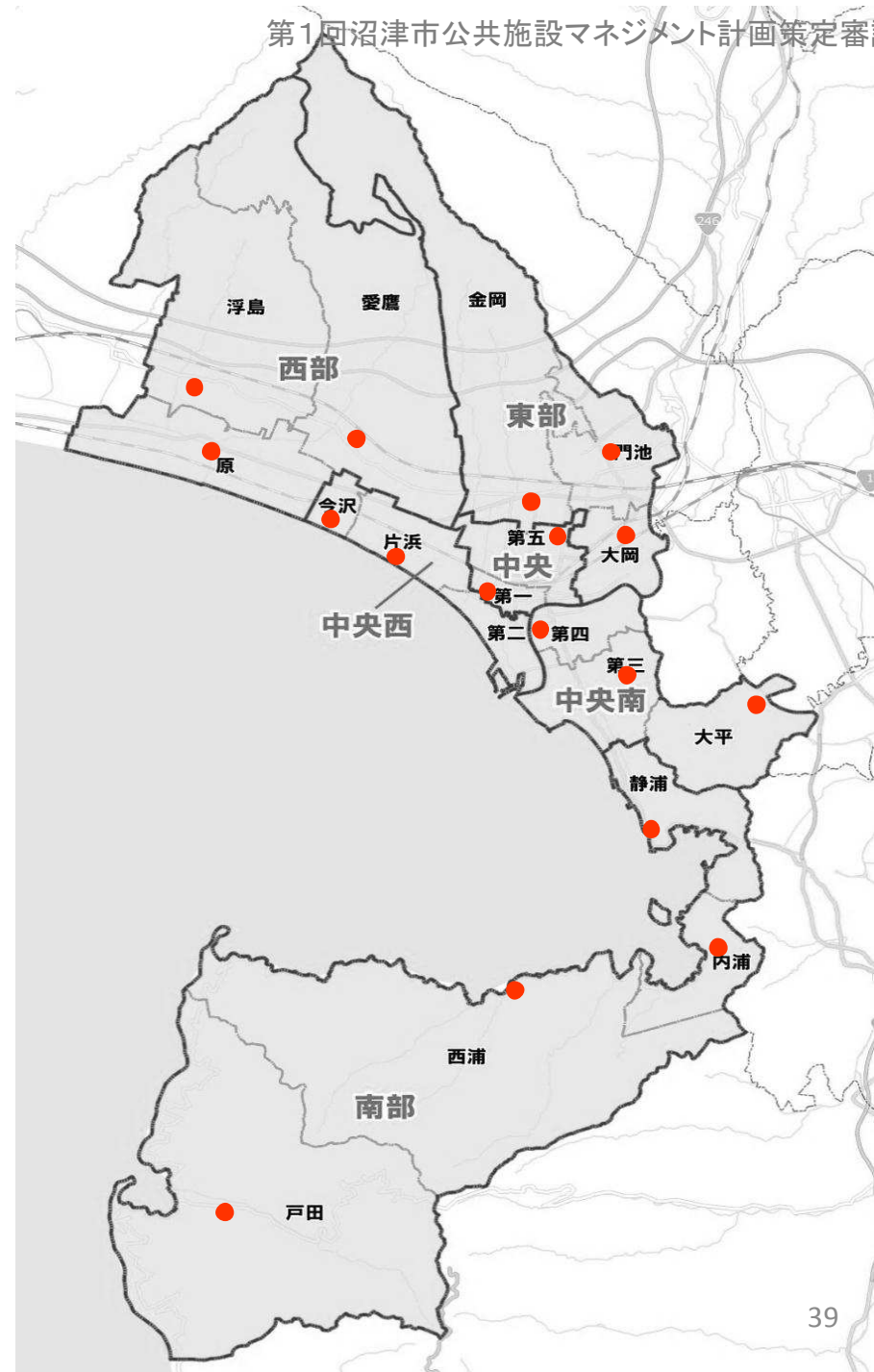
※民間施設の一部を借用している施設や、仮設事務所なども含む。

※公衆トイレやポンプ小屋等の小規模な単体施設や、道路、橋梁、上下水道管等のインフラ資産は除いている。

施設分類			主要施設
I 一般施設	市民利用施設	(1) コミュニティ施設 (25 施設)	地区センター、集会場
		(2) 学校教育施設 (70 施設)	小学校、中学校、高校、看護専門学校等
		(3) 社会教育・文化施設 (14 施設)	図書館、文化センター、博物館等、歴史施設
		(4) 子育て施設 (45 施設)	保育所、幼稚園、子育て支援センター、放課後児童クラブ等
		(5) 福祉施設 (15 施設)	老人福祉センター、デイサービスセンター等
		(6) 医療・保健施設 (5 施設)	病院、診療所、保健センター等
		(7) スポーツ・レクリエーション施設 (16 施設)	スポーツ施設（体育館、プール、野球場、テニスコート等） レクリエーション施設（道の駅、キャンプ場、海水浴場等）
		(8) 住宅等 (33 施設)	市営住宅、職員住宅、医師住宅等
		(9) その他施設 (6 施設)	駐車場、駐輪場、斎場
	行政系施設	(10) 庁舎施設 (16 施設)	庁舎、市民窓口事務所
		(11) 消防施設 (56 施設)	消防庁舎、分遣所、消防団詰所、コミュニティ防災センター等
		(12) その他施設 (12 施設)	倉庫等
II	プラント系施設	(13) プラント施設 (5 施設)	清掃プラント、衛生プラント等
III	インフラ系施設	(14) 都市公園施設 (5 施設)	公園管理棟
		(15) 上下水道施設 (13 施設)	水道部庁舎、送水管理センター、浄化センター等
IV	機能廃止予定施設	(16) 機能廃止予定施設 (14 施設)	旧小学校、旧中学校、旧分遣所等

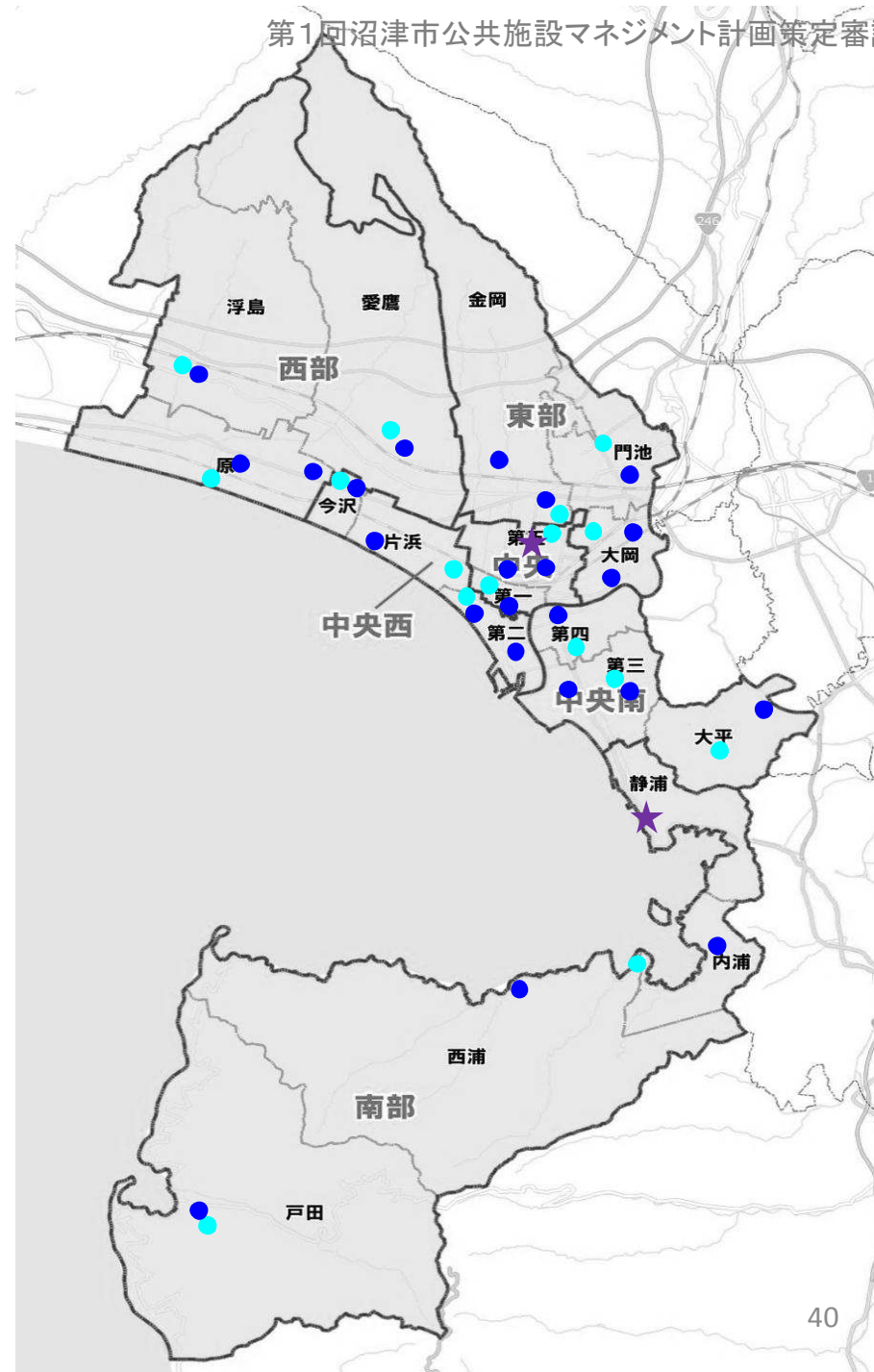
(1)コミュニティ施設

地域	地区	コミュニティ施設
		地区センター
西部	原	●
	浮島	●
	愛鷹	●
東部	金岡	●
	大岡	●
	門池	●
中央西	今沢	●
	片浜	●
	第二	
中央	第一	●
	第五	●
中央南	第三	●
	第四	●
	大平	●
南部	静浦	●
	内浦	●
	西浦	●
	戸田	●



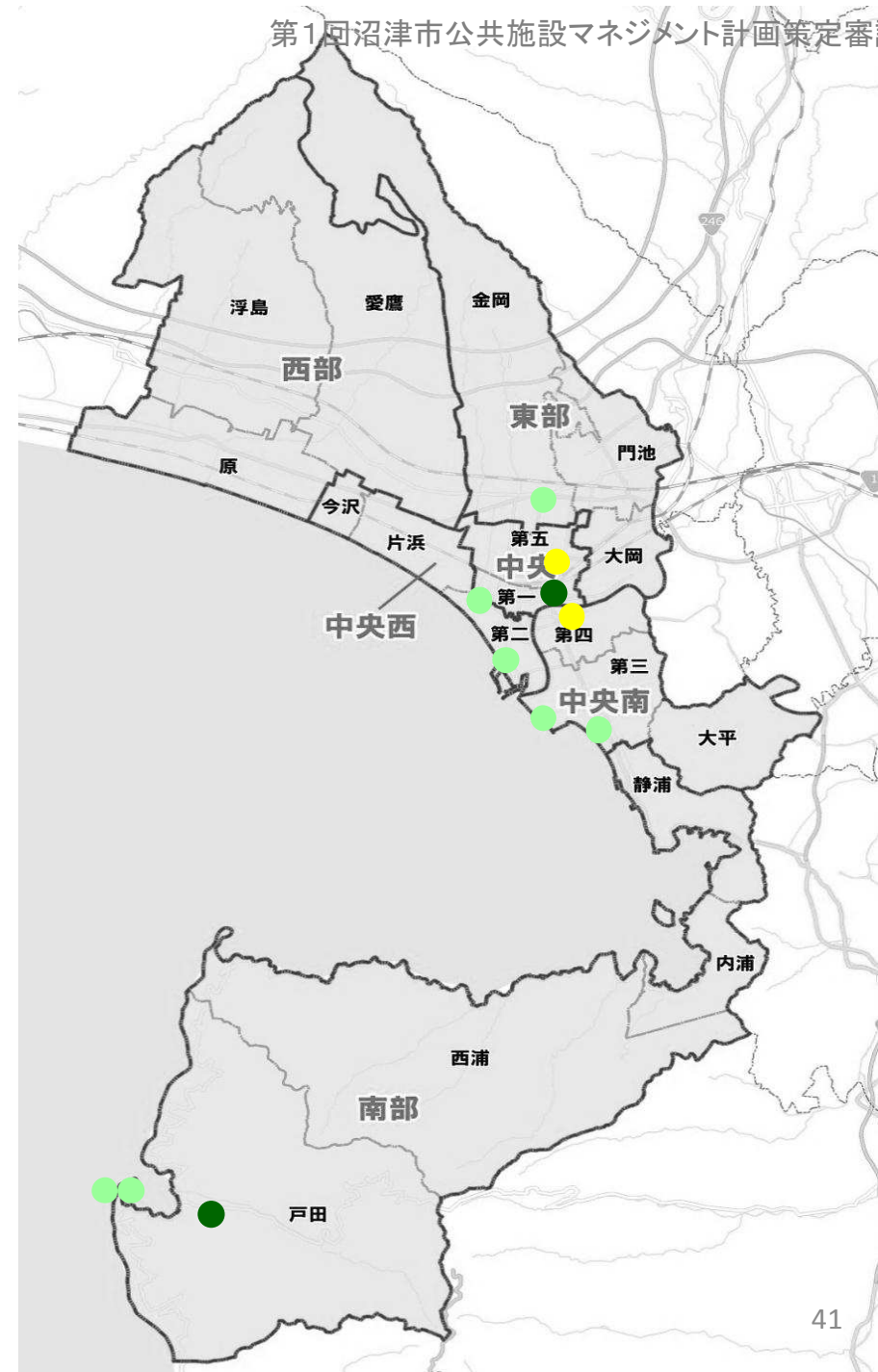
(2) 学校教育施設

地域	地区	学校教育施設		
		小学校	中学校	一貫学校
西部	原	●●	●	
	浮島	●	●	
	愛鷹	●	●	
東部	金岡	●●	●	
	大岡	●●	●	
	門池	●	●	
中央西	今沢	●	●	
	片浜	●	●	
	第二	●●	●	
中央	第一	●	●	
	第五	●●	●	★(中高一貫校)
中央南	第三	●●	●	
	第四	●	●	
	大平	●	●	
南部	静浦			★(小中一貫校)
	内浦	●	●	
	西浦	●		
	戸田	●	●	



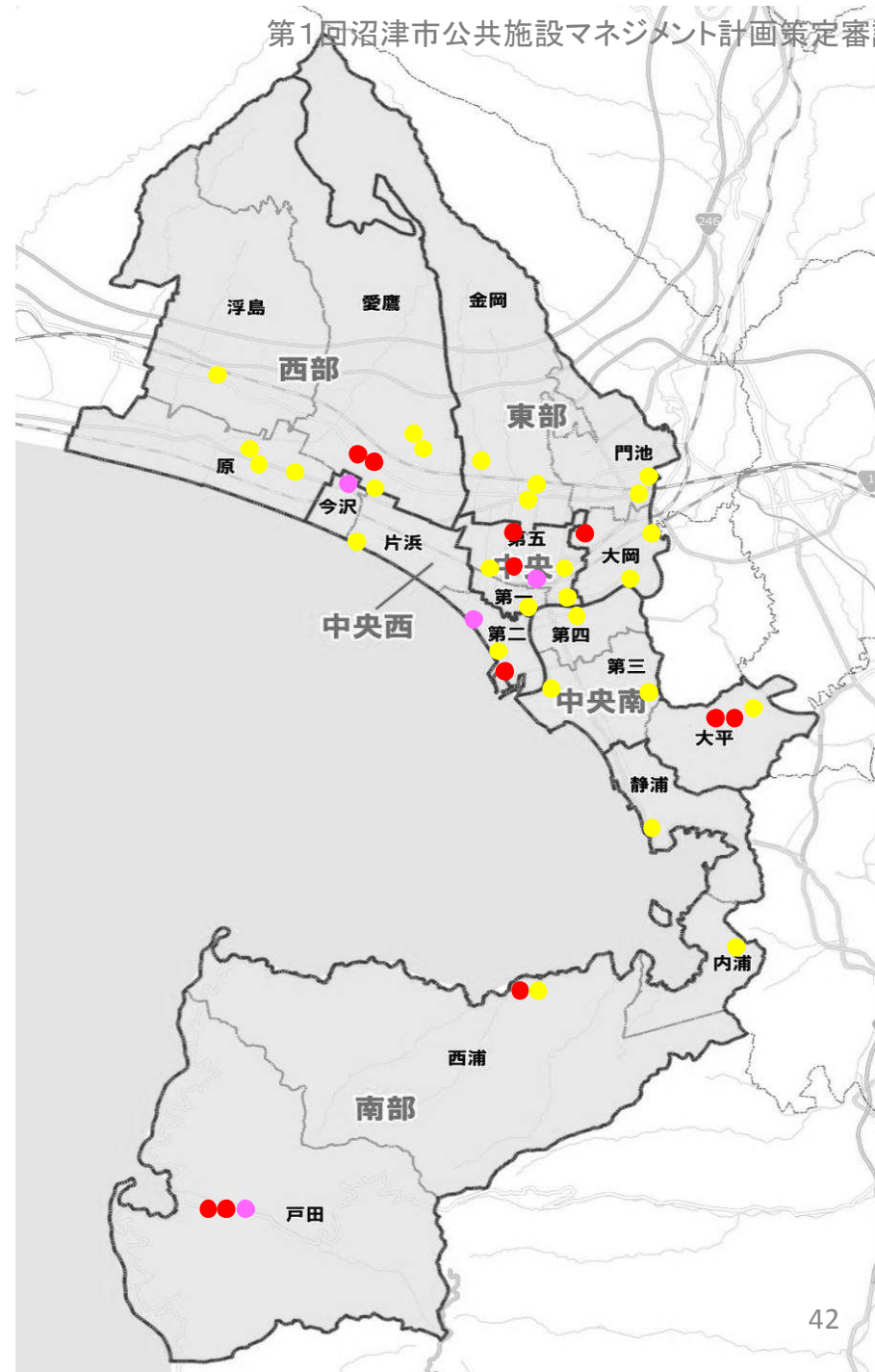
(3) 社会教育・文化施設

地域	地区	社会教育施設		
		図書館	博物館等	文化施設
西部	原			
	浮島			
	愛鷹			
東部	金岡		●	
	大岡			
	門池			
中央西	今沢			
	片浜			
	第二		● ●	
中央	第一			
	第五	●		●
中央南	第三		● ●	
	第四			●
	大平			
南部	静浦			
	内浦			
	西浦			
	戸田	●	● ●	



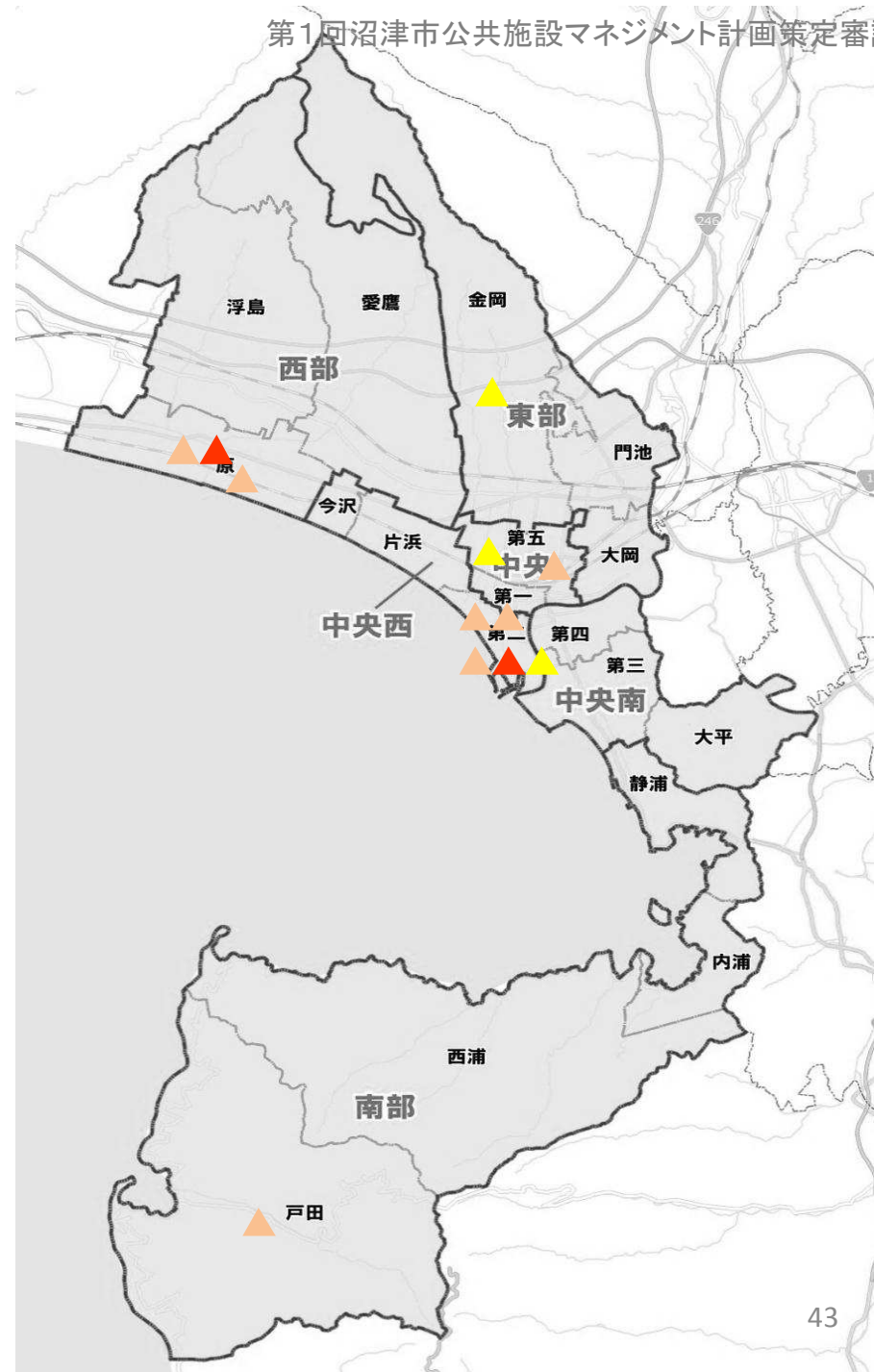
(4) 子育て施設

地域	地区	子育て施設		
		保育所・幼稚園等	子育て支援センター	放課後児童クラブ
西部	原			●●●
	浮島			●
	愛鷹	●●		●●
東部	金岡			●●●
	大岡	●		●●
	門池			●●
中央西	今沢		●	●
	片浜			●
	第二	●	●	●
中央	第一			●
	第五	●●	●	●●
中央南	第三			●●
	第四			●●
	大平	●●		●
南部	静浦			●
	内浦			●
	西浦	●		●
	戸田	●●	●	



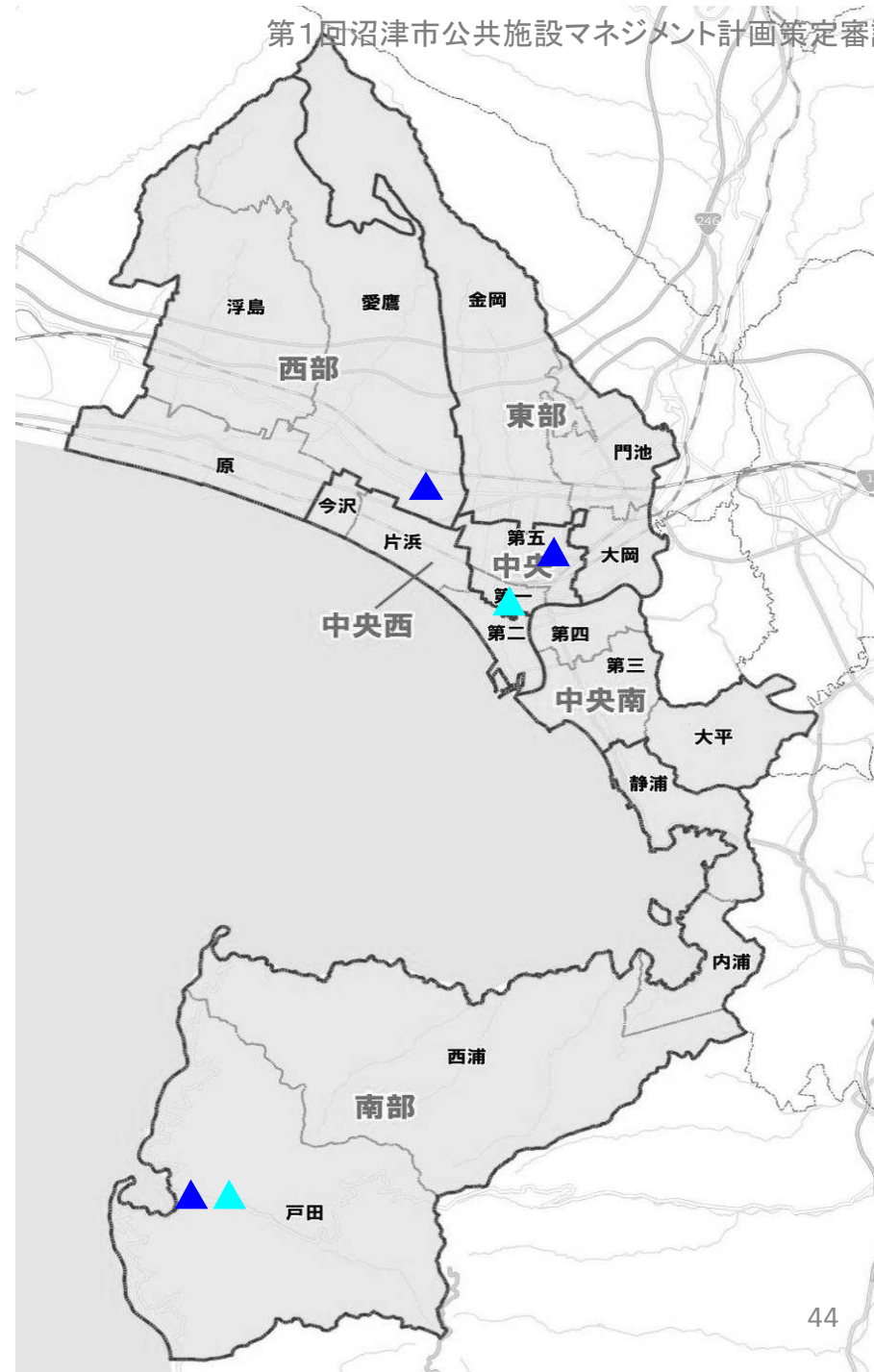
(5) 福祉施設

地域	地区	福祉施設		
		老人福祉センター	デイサービスセンター	その他福祉施設
西部	原	▲	▲▲	
	浮島			
	愛鷹			
東部	金岡			▲
	大岡			
	門池			
中央西	今沢			
	片浜			
	第二	▲	▲▲▲	▲
中央	第一			
	第五		▲	▲
中央南	第三			
	第四			
	大平			
南部	静浦			
	内浦			
	西浦			
	戸田		▲	



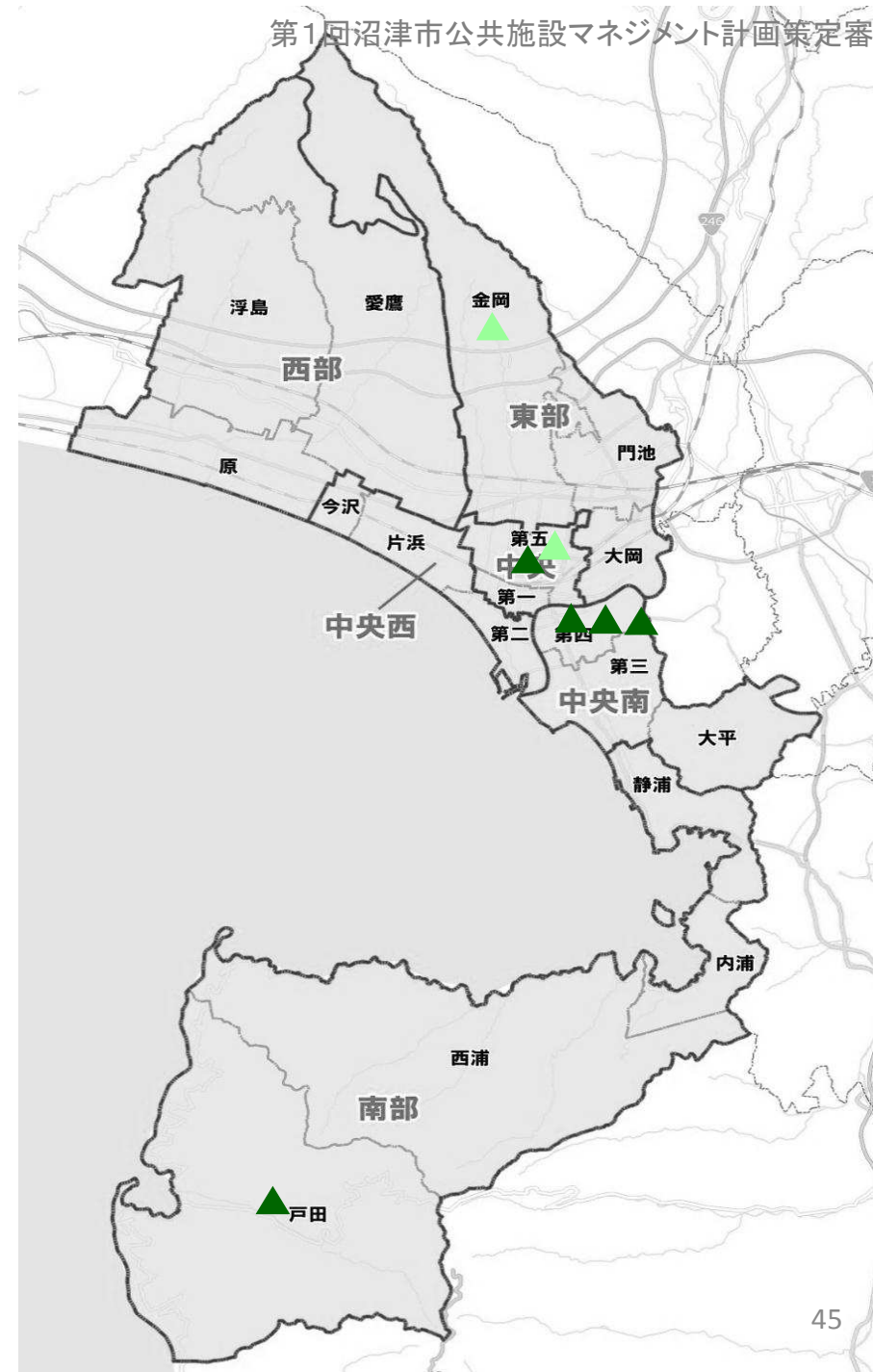
(6) 医療・保健施設

地域	地区	医療施設			保健施設
		市立病院	診療所	夜間救急 医療センター	保健センター
西部	原				
	浮島				
	愛鷹	▲			
東部	金岡				
	大岡				
	門池				
中央西	今沢				
	片浜				
	第二				
中央	第一				▲
	第五			▲	
中央南	第三				
	第四				
	大平				
南部	静浦				
	内浦				
	西浦				
	戸田		▲		▲



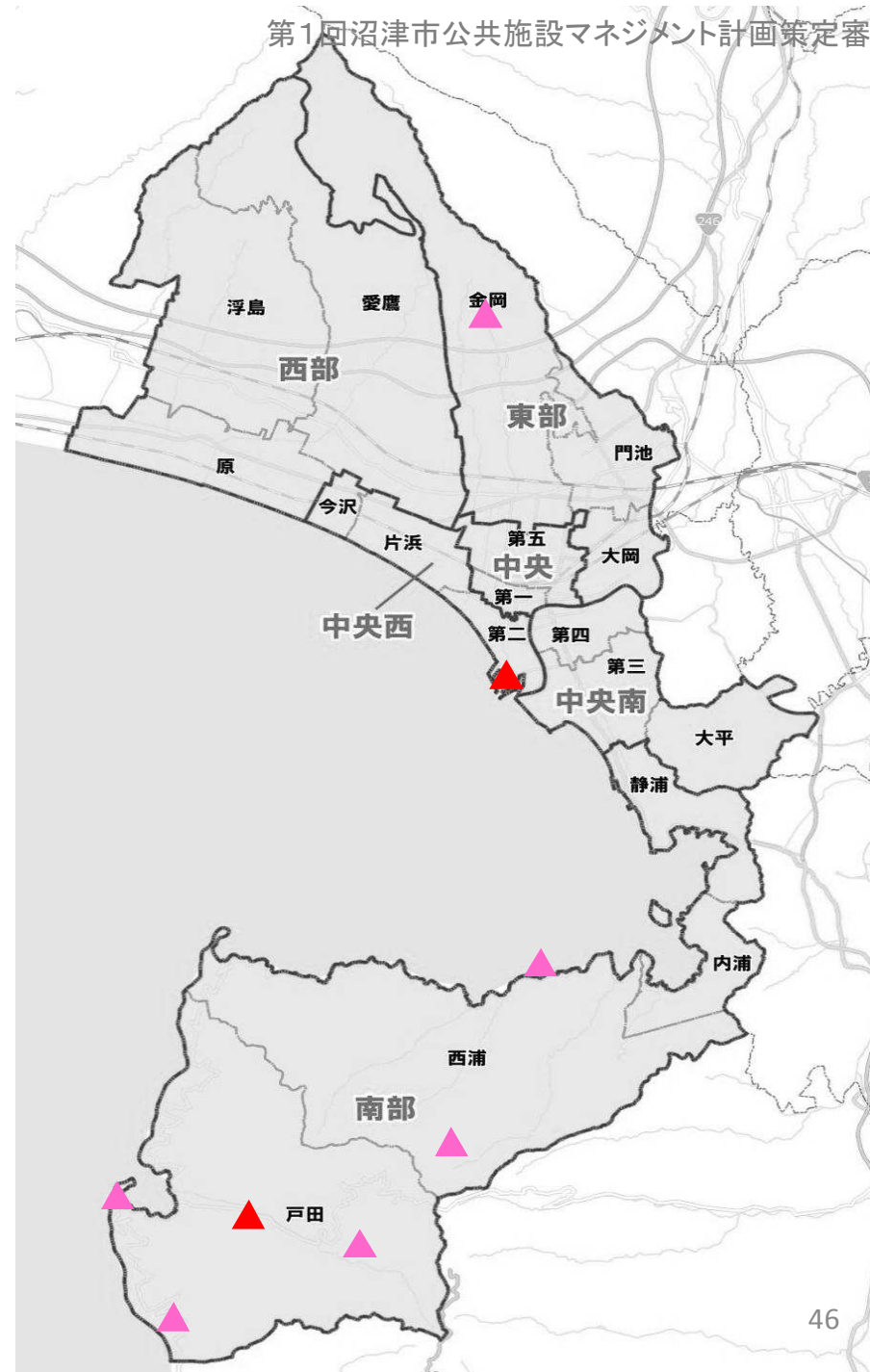
(7) スポーツ施設

地域	地区	スポーツ施設	
		屋内スポーツ施設	屋外スポーツ施設
西部	原		
	浮島		
	愛鷹		
東部	金岡		▲(テニスコート)
	大岡		
	門池		
中央西	今沢		
	片浜		
	第二		
中央	第一		
	第五	▲(体育館) ▲(武道場)	▲(野球場)
中央南	第三		
	第四	▲(体育館) ▲(プール)	
	大平		
南部	静浦		
	内浦		
	西浦		
	戸田	▲(体育館、プール)	



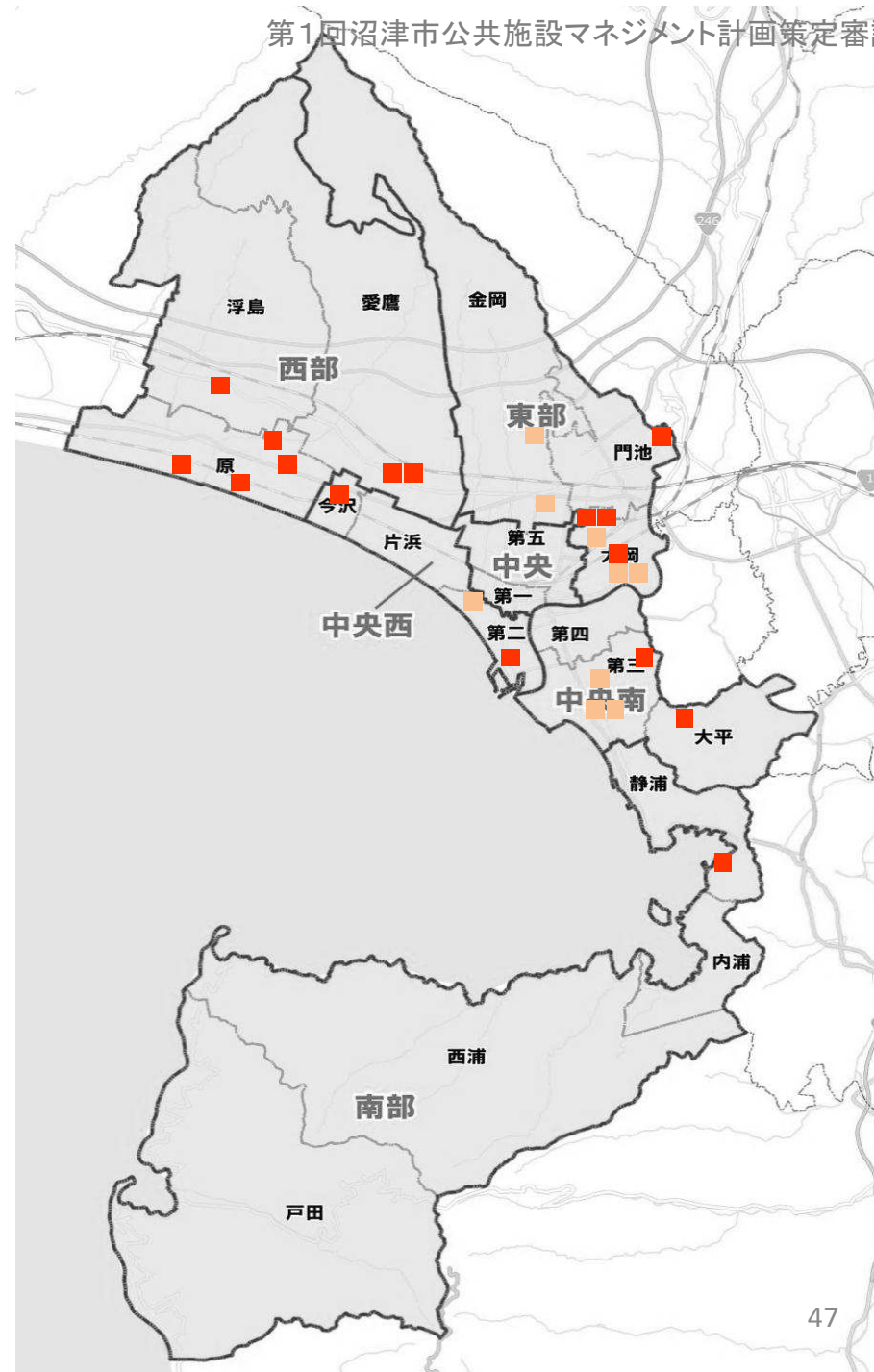
(7)レクリエーション施設

地域	地区	レクリエーション施設	
		観光施設	その他施設
西部	原		
	浮島		
	愛鷹		
東部	金岡		▲(宿泊体験施設)
	大岡		
	門池		
中央西	今沢		
	片浜		
	第二	▲(水門展望施設)	
中央	第一		
	第五		
中央南	第三		
	第四		
	大平		
南部	静浦		
	内浦		
	西浦		▲(海水浴場) ▲(キャンプ場)
	戸田	▲(道の駅)	▲(宿泊体験施設) ▲(海水浴場) ▲(キャンプ場)



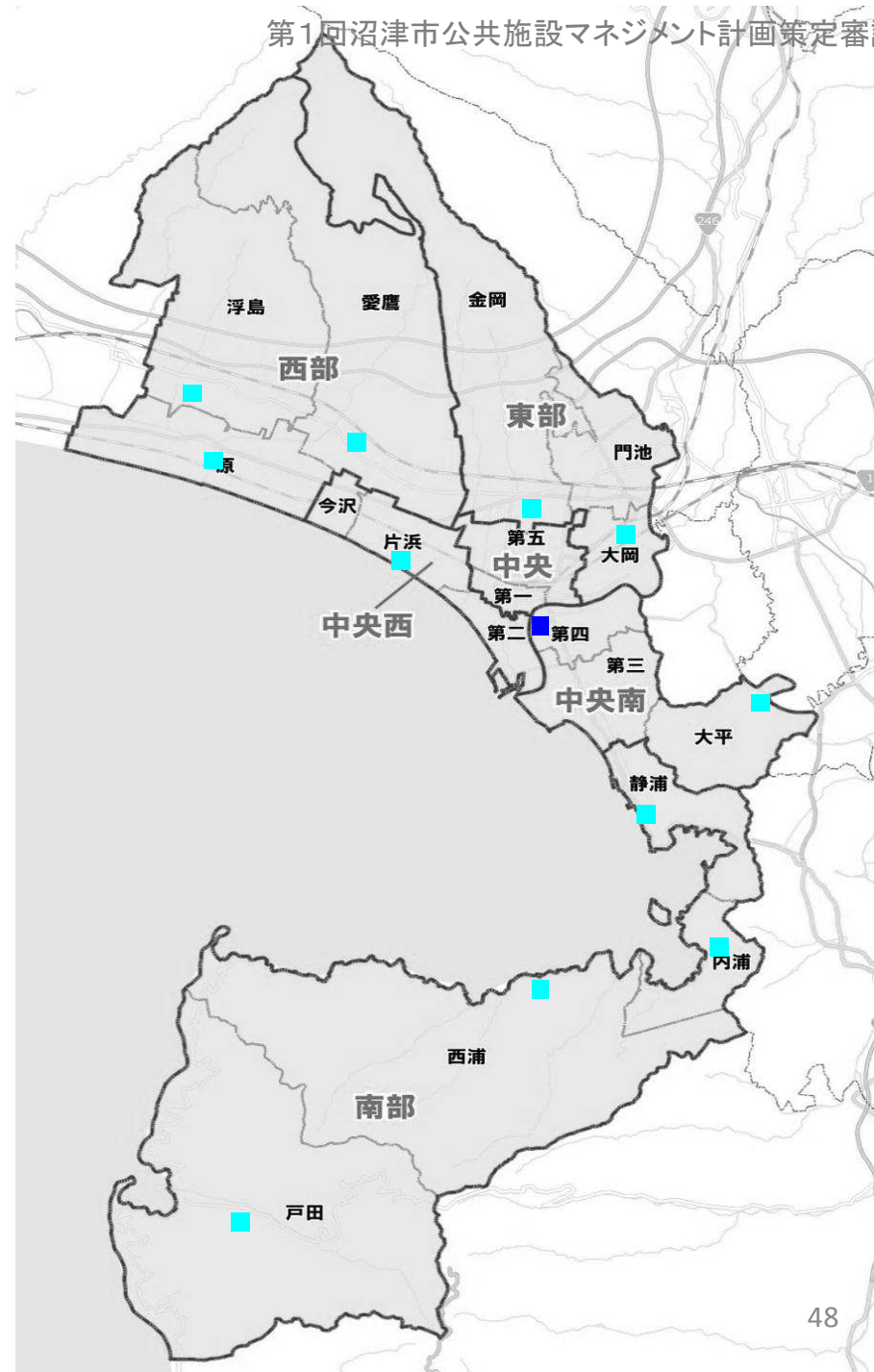
(8) 住宅等

地域	地区	住宅等	
		市営住宅	借上市営住宅
西部	原	■ ■ ■ ■	
	浮島	■	
	愛鷹	■ ■	
東部	金岡		■ ■
	大岡	■ ■	■ ■ ■
	門池	■	
中央西	今沢	■	
	片浜		
	第二	■	■
中央	第一		
	第五	■	
中央南	第三	■	■ ■ ■
	第四		
	大平	■	
南部	静浦	■	
	内浦		
	西浦		
	戸田		



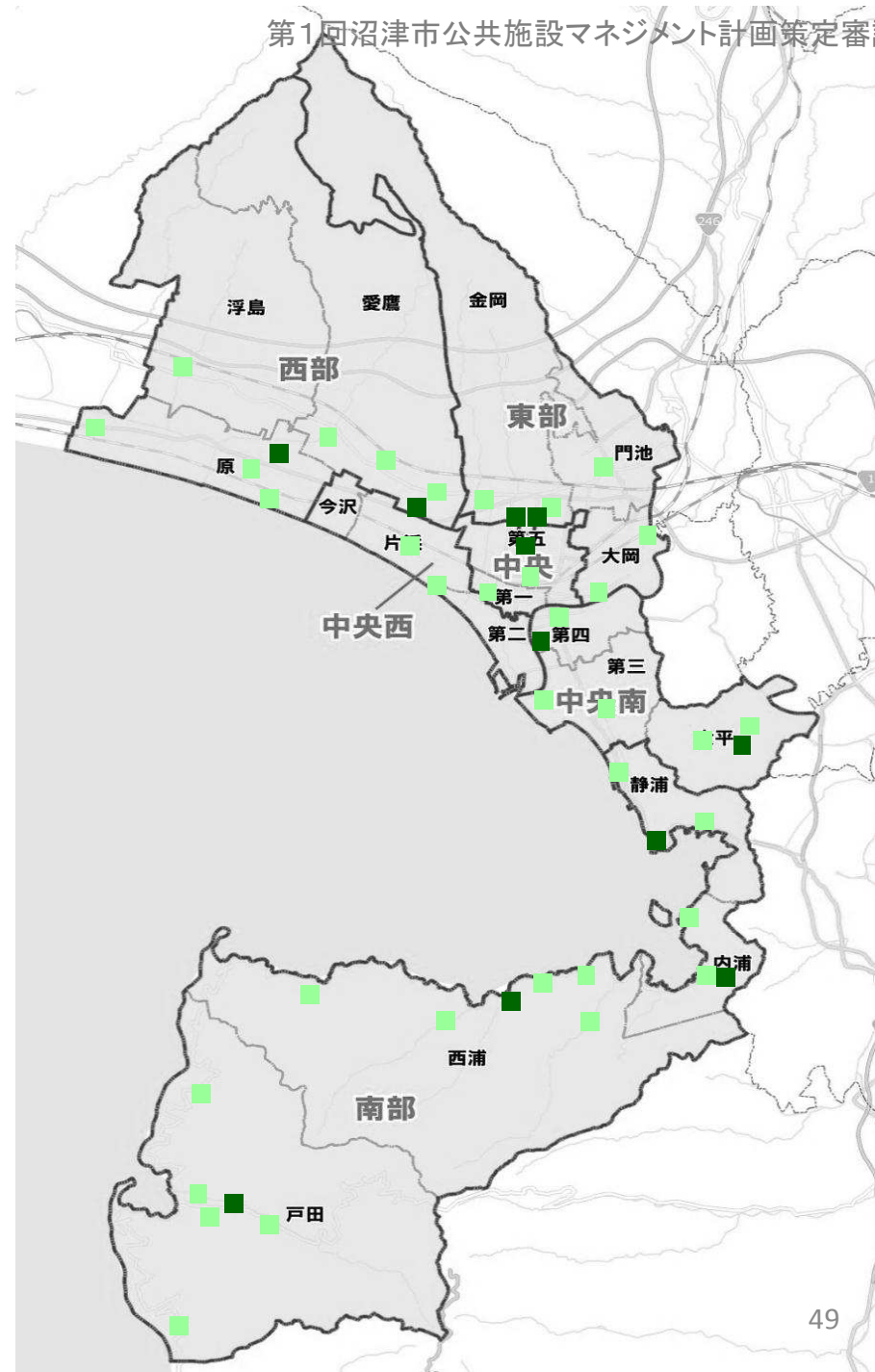
(10)庁舎施設

地域	地区	庁舎施設	
		市庁舎	市民窓口事務所
西部	原		■
	浮島		■
	愛鷹		■
東部	金岡		■
	大岡		■
	門池		
中央西	今沢		
	片浜		■
	第二		
中央	第一		
	第五		
中央南	第三		
	第四	■	
	大平		■
南部	静浦		■
	内浦		■
	西浦		■
	戸田		■



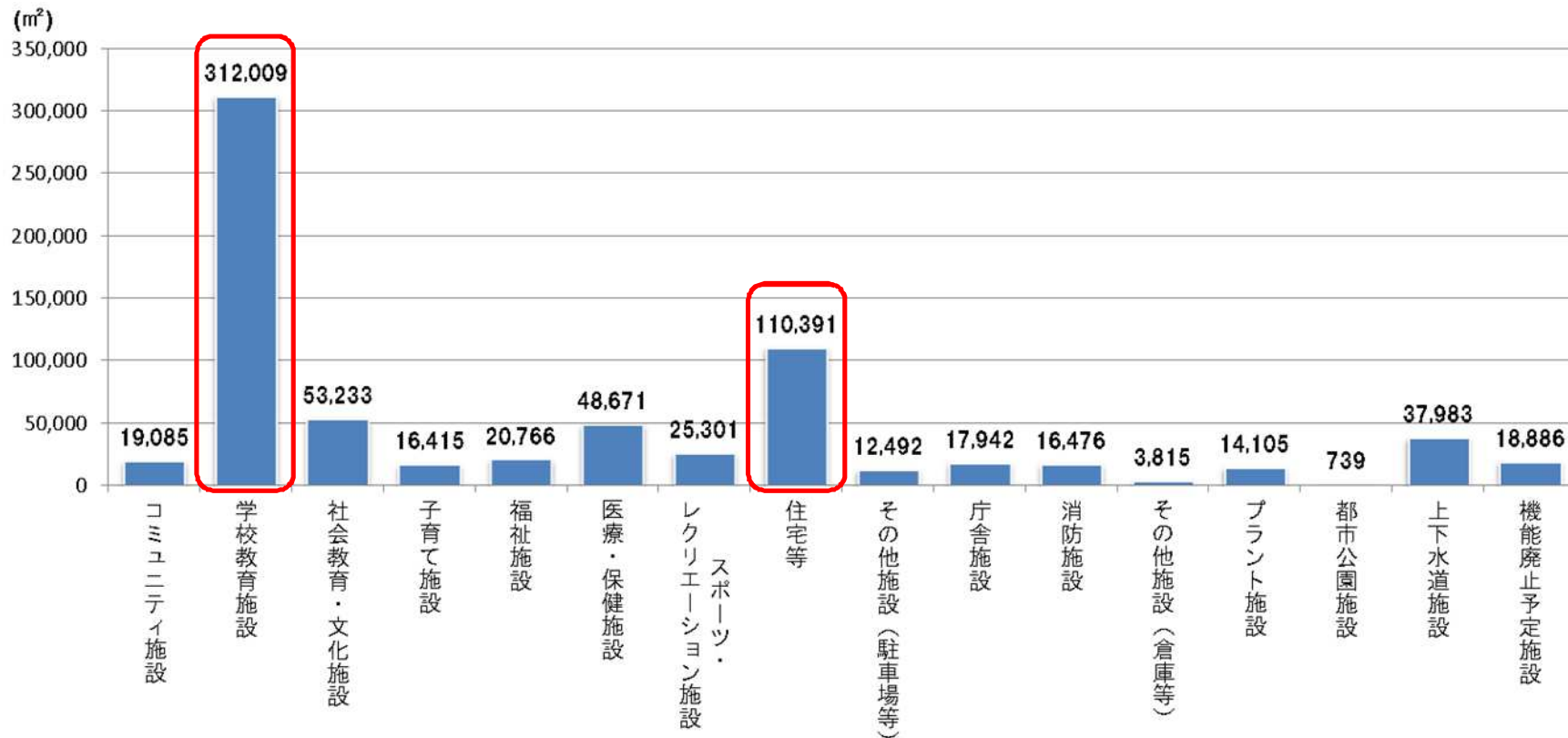
(11) 消防施設

地域	地区	消防施設	
		消防庁舎	消防団詰所
西部	原	■	■ ■ ■
	浮島		■
	愛鷹	■	■ ■ ■
東部	金岡	■ ■	■ ■
	大岡		■ ■
	門池		■
中央西	今沢		
	片浜		■ ■
	第二		
中央	第一		■
	第五	■	■
中央南	第三		■ ■
	第四	■	■
	大平	■	■ ■
南部	静浦	■	■ ■
	内浦	■	■ ■
	西浦	■	■ ■ ■ ■
	戸田	■	■ ■ ■ ■



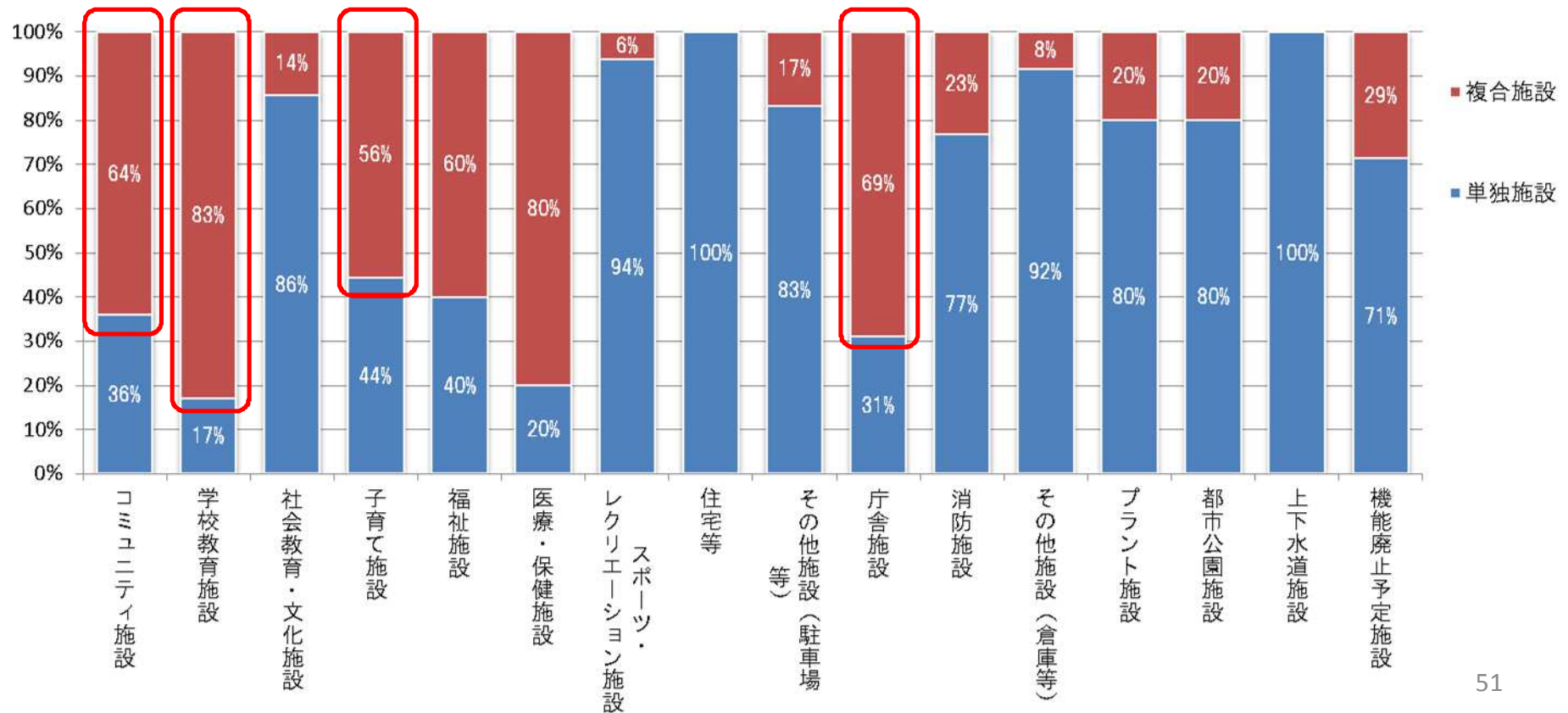
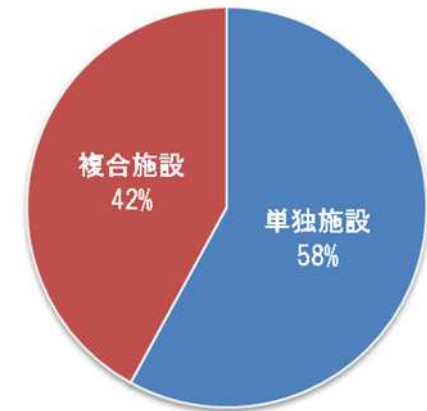
延床面積

- 総延床面積は約73万㎡となっている。
- 学校教育施設が約31万㎡と最も多く、全体の約4割を占めている。
- 次いで住宅等が約11万㎡となっており、全体の約1.5割を占めている。
- 比較的施設数の多い子育て施設や消防施設は、1施設あたりの面積が小さいため全体に占める割合は小さい。



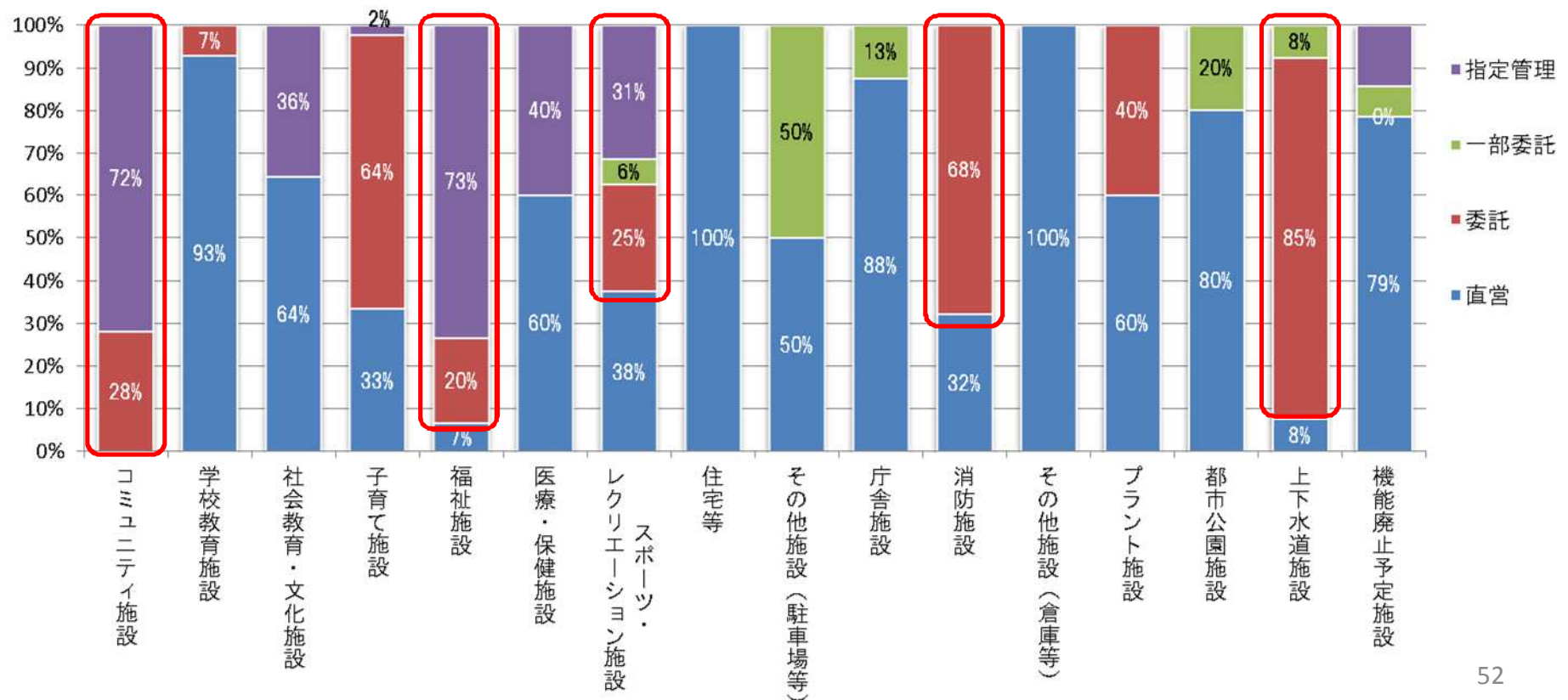
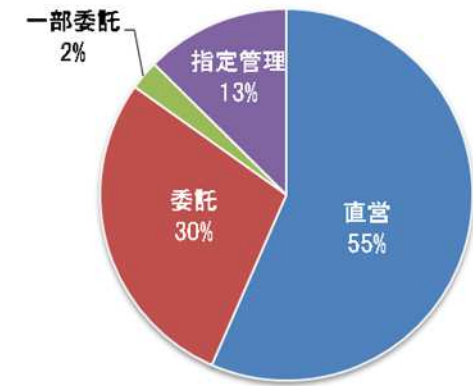
施設形態

- 全体の約4割が複合施設となっている。
- 本市は小中学校の校舎や体育館に、地区センターや放課後児童クラブ、市民窓口事務所等を合築しており、複合割合が高い。
- 住宅等や上下水道施設は全て単独施設となっている。



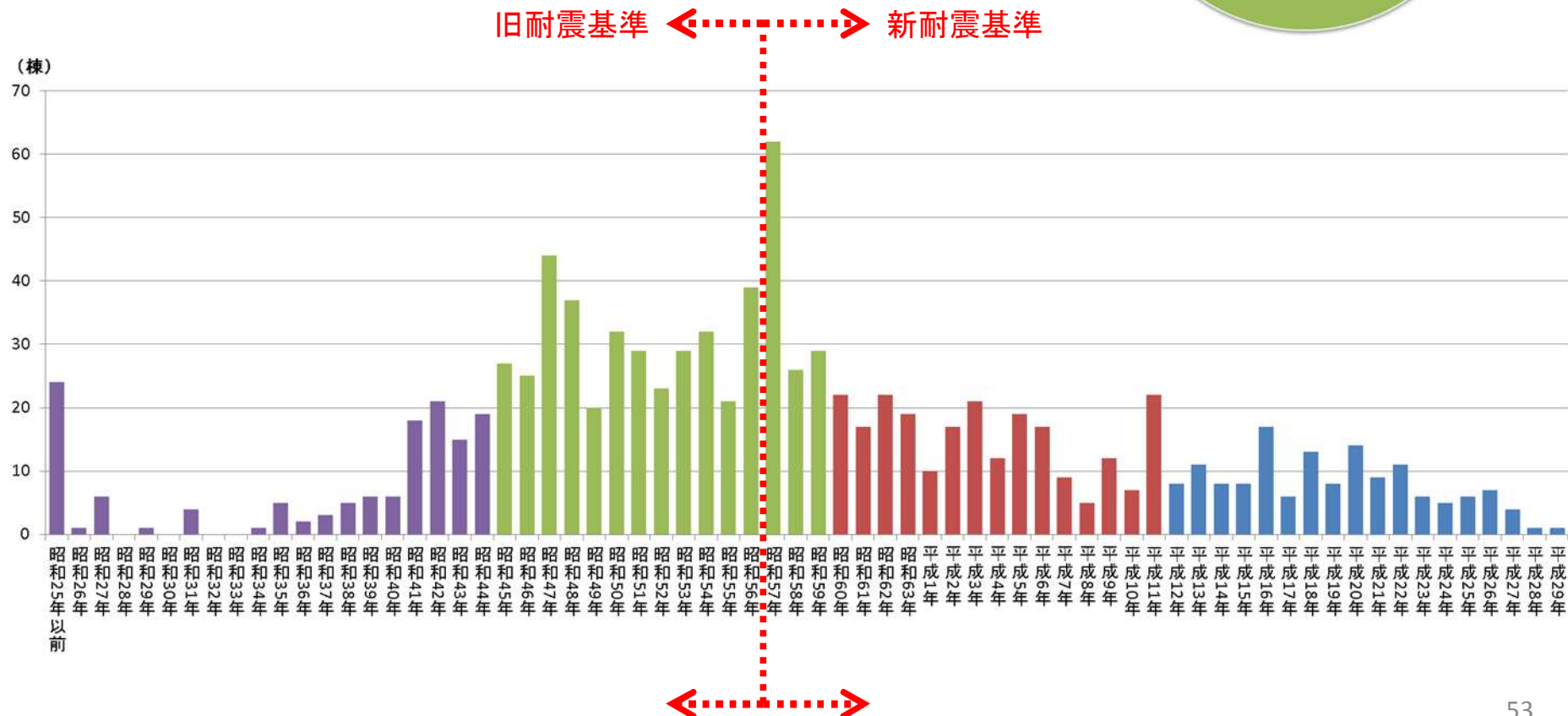
施設管理方式

- 全体の約半数が委託や指定管理施設となっている。
- コミュニティ施設、福祉施設、上下水道施設、消防施設、スポーツ・レクリエーション施設は直営施設割合が低い。
- 住宅やその他施設(倉庫等)は全て直営施設となっている。



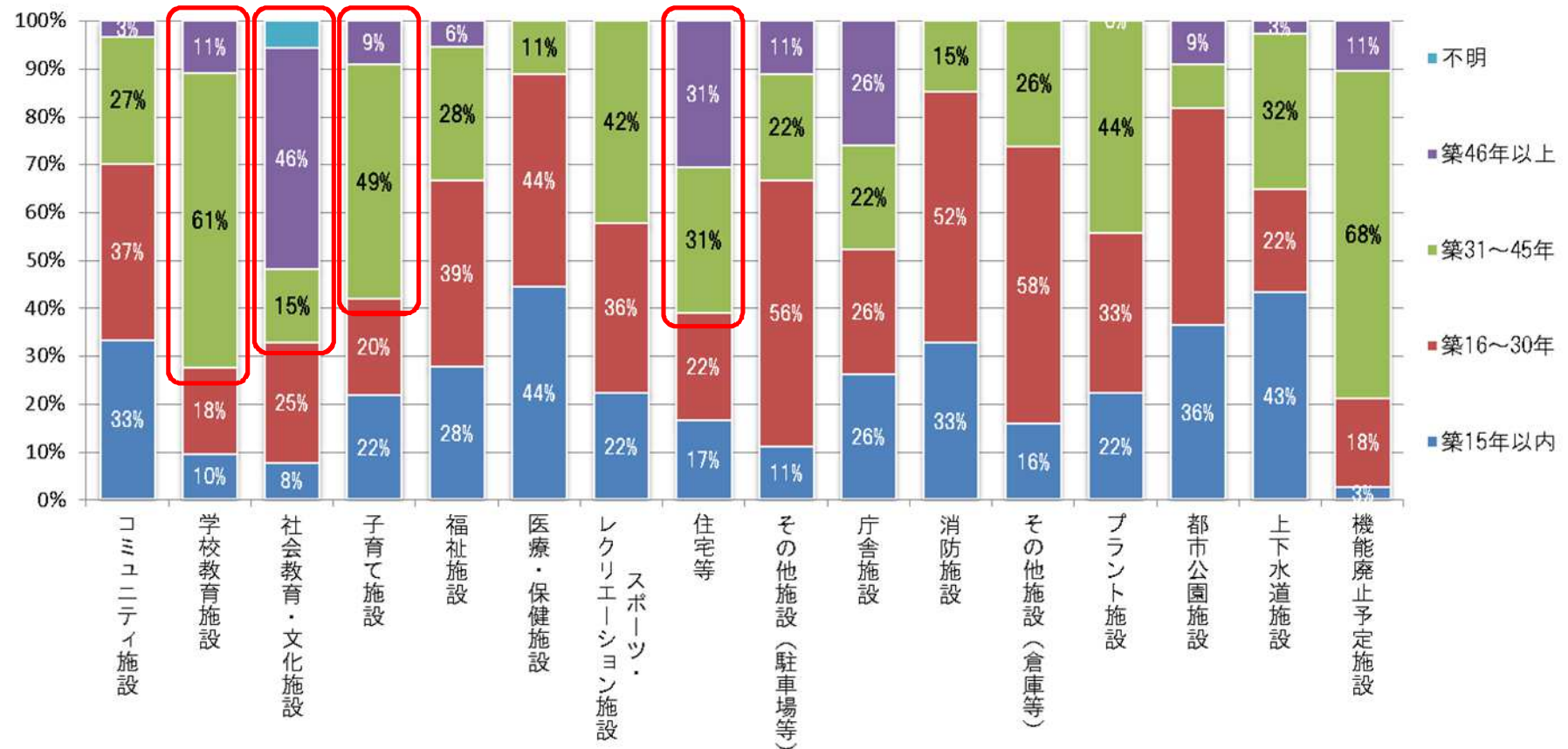
建築年(1)

- 旧耐震基準となる昭和56年(1981年)以前に建てられた建物は、全体の約半数となっている。
- 築年数を15年ごとにみると、高度経済成長期であった築31年～45年の建物が最も多く、全体の約半数を占めている。



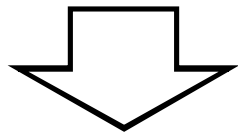
建築年(2)

- 学校教育施設、社会教育・文化施設、子育て施設、住宅等の半数以上が築31年以上を経過し、比較的古い建物が多い。
- 医療・保健施設、消防施設、コミュニティ施設の7割以上が築30年未満で、比較的新しい建物が多い。

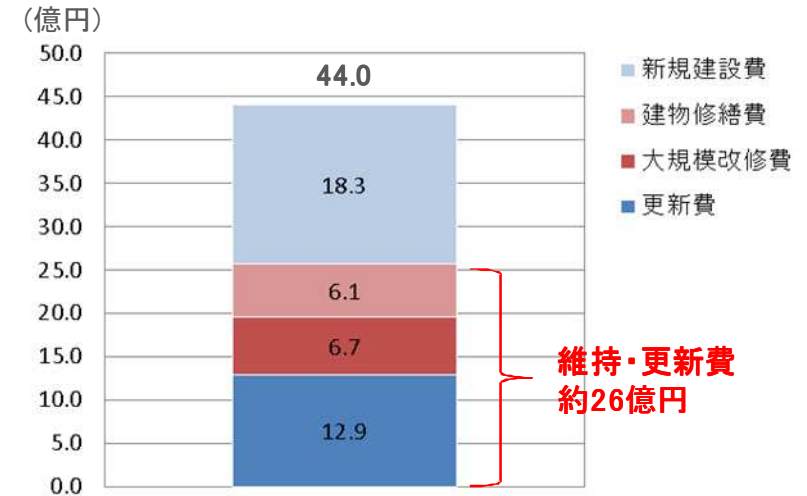


建物維持・更新コスト

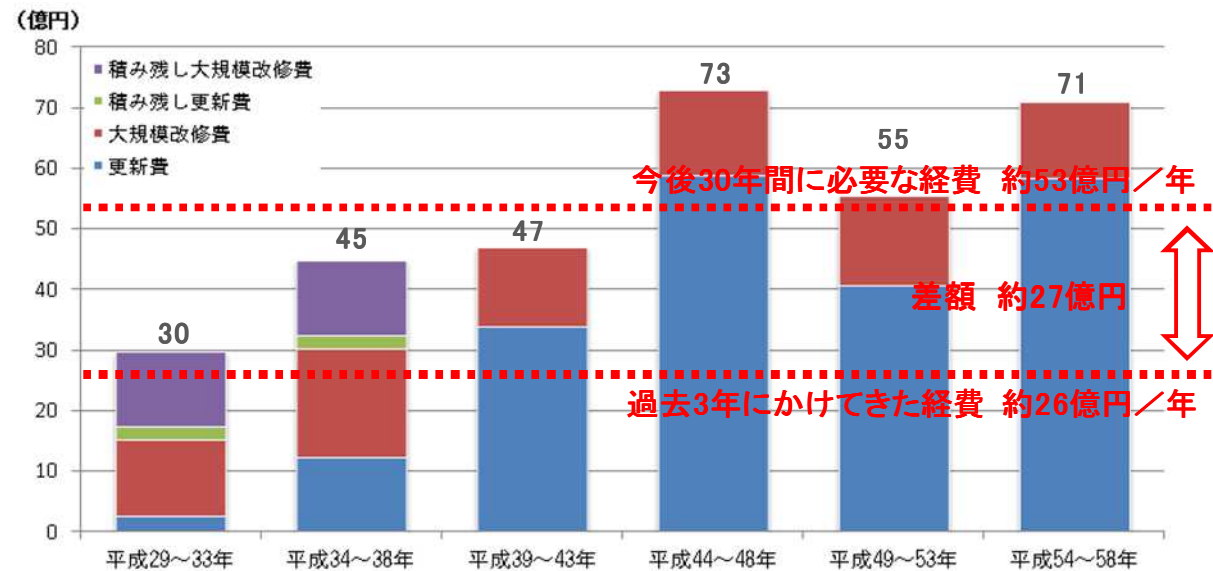
- 過去3年間(平成23～25年度)における建設・維持関連コストは年平均約44億円だった。
- このうち新規建設にかけた約18億円を除く、**約26億円**が既存施設の建物維持・更新にかけたコストだった。



総務省が示す「公共施設等更新費用算出ソフト」の考えに基づき、大規模改修を30年、更新を60年で行うものとし、建物の維持・更新コストを算出すると、



- 現時点で、既に大規模改修や更新の時期が過ぎてしまった積み残し費が合計で約147億円分ある。
- 積み残しを当初10年間でを行い、全ての施設の規模を維持したまま大規模改修・更新を行うと、今後30年間で年平均**約53億円**必要となると試算された。



※本試算は、歴史的施設、機能廃止予定施設、上下水道や病院などの企業会計施設を除く。

インフラ資産の状況

【道路】

市道路実延長 約1,130km(平成26年4月現在)

市道認定路線数 4,384路線(平成26年4月現在)

【橋梁】

全 697橋(平成24年3月現在)

重要橋梁 120橋(災害時の緊急輸送路や物流路線など道路ネットワーク上、重要な橋梁)

※このうち架設50年以上経過する 割合は現在約2%だが、10年後に約66%、20年後に約81%

【河川】

準用河川 28本(一・二級河川以外で市町村長が指定した河川)(平成27年4月現在)

普通河川 82本(上記以外の中小河川)(平成27年4月現在)

【公園】

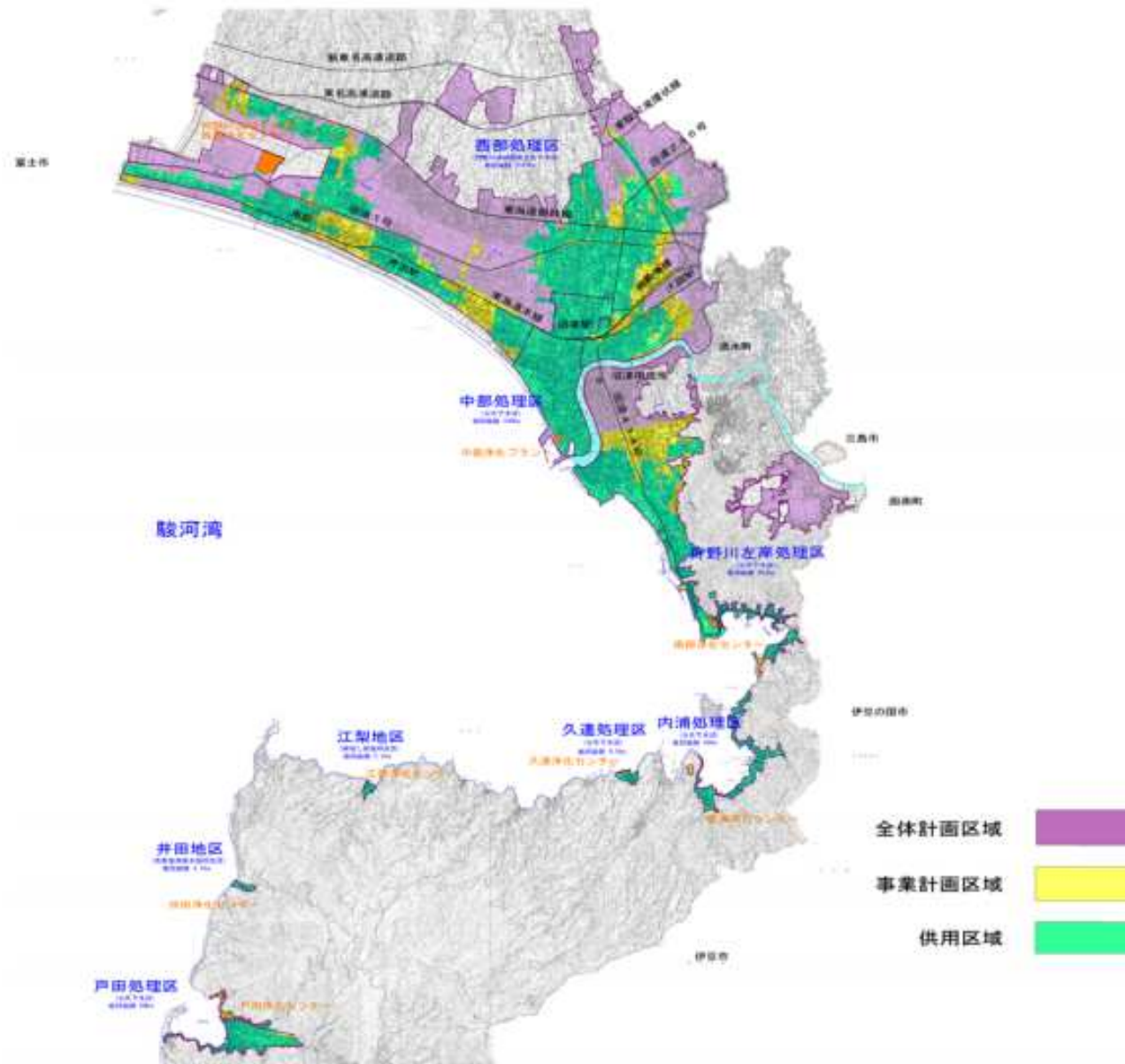
市が管理する公園 145箇所(平成27年4月現在)

【上下水道管】

上水道管 約1,130km(平成26年現在)

下水道管(污水管 約525km、雨水管 約3km)(平成26年現在)

公共下水道について、行政人口に対する供用開始人口の割合である
人口普及状況は56.7%となっている。(平成25年末現在)



関連計画等

<関連計画(全体に関する計画)>

- 第4次総合計画(計画期間:2011年～2020年)
- 都市計画マスタープラン
- 第3次行政改革推進プラン(計画期間:2016年～2020年)
- まち・ひと・しごと創生総合戦略(計画期間:2015年～2019年)
- まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(2060年を展望)
- 立地適正化計画(2016年策定予定)
- 中心市街地まちづくり計画(2015年～2024年)
- まちなか居住促進計画(2015年～2024年)

<関連施設管理計画(個別施設に関する計画)>

- (仮称)学校配置最適化計画
- (仮称)市営住宅等管理・整備基本計画
- 市立病院改革プラン
- 長寿命化計画(市営住宅、橋梁)
- 上水道ビジョン、下水道ビジョン
- 駿東伊豆地区広域消防運営計画※

※平成28年度より、静岡県東部(駿東伊豆地区4市3町)が広域的に連携し、新消防組織を構成する。
現存する消防庁舎等については、無償貸与する予定。